

I 調査の設計

1. アンケート調査の目的

佐久市では、第二次佐久市総合計画（平成 29 年 3 月策定）に基づいて実施している市の取り組みに市民の皆さんが満足しているのか、その施策を今後も必要としているのかといったご意見・ご意向を市の施策へ反映すること、また、「快適健康都市」の実現に向け、市民の皆さんが感じている住み心地・健康感・幸福感に関する意識を伺うことを目的とし、アンケート調査を実施した。

2. 調査の設計

(1) 調査対象

佐久市内に住所を有する 16 歳以上の男女 3,000 人
住民基本台帳から無作為抽出し、郵送によりアンケート調査票を発送、回収

(2) 調査期間

令和 2 年 11 月 12 日～12 月 4 日

(3) 有効回答

1,721 人（回答率 57.4%）

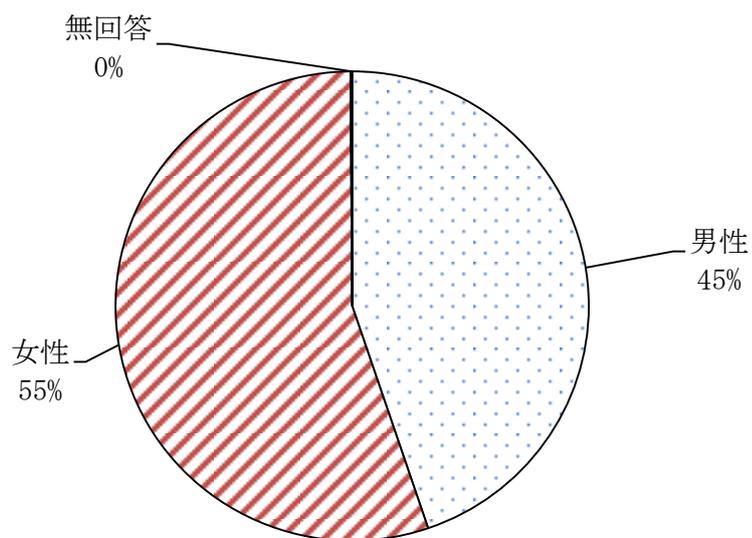
3. 注意事項

- 回答率は回答者数より算出した。
- 四捨五入の関係で回答率の合計が 100%にならない、また、本文中の数値と表の数値が合わない場合がある。
- 過去の調査において、回答率の合計が 100%とならない場合は、100%となるように「無回答」にて調整した。
- グラフにおける（n=●●）の●●は回答者数。
設問の分岐等により、回答者数が（n=1,721）とならない場合のみ、記載がある。
また、過去の回答者数の記載は省略している。
- 記述式回答は可能な限り原文に近い状態とし、性別、年代、居住地順とした。また、難読文字は●表記となっている。
- 左右のページで見やすいよう<空白ページ>が挿入されているページがある。

4. 回答者属性

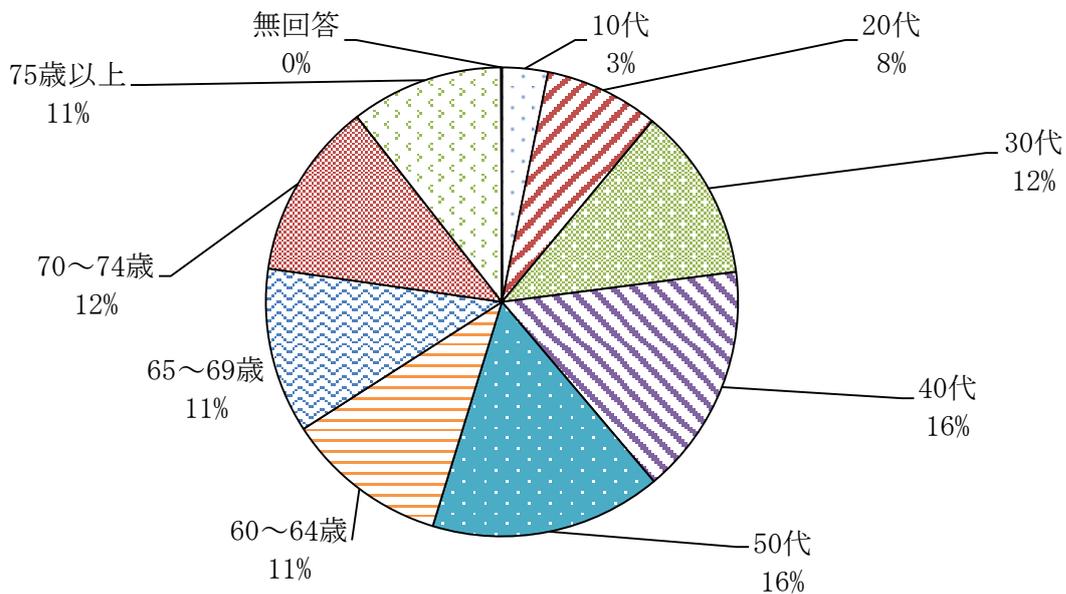
(1) 性別

	回答数	回答率
男性	771	44.8%
女性	948	55.1%
無回答	2	0.1%
合計	1721	100.0%



(2) 年代

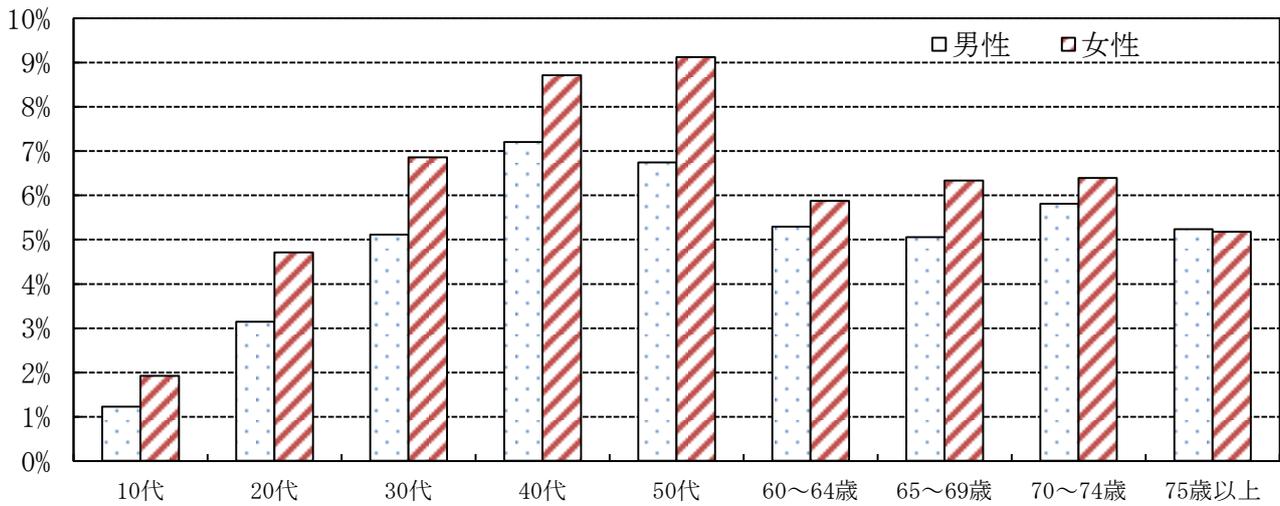
	回答数	回答率
10代	54	3.1%
20代	135	7.8%
30代	206	12.0%
40代	274	15.9%
50代	273	15.9%
60～64歳	192	11.2%
65～69歳	196	11.4%
70～74歳	210	12.2%
75歳以上	180	10.5%
無回答	1	0.1%
合計	1721	100.0%



(3) 性別と年代

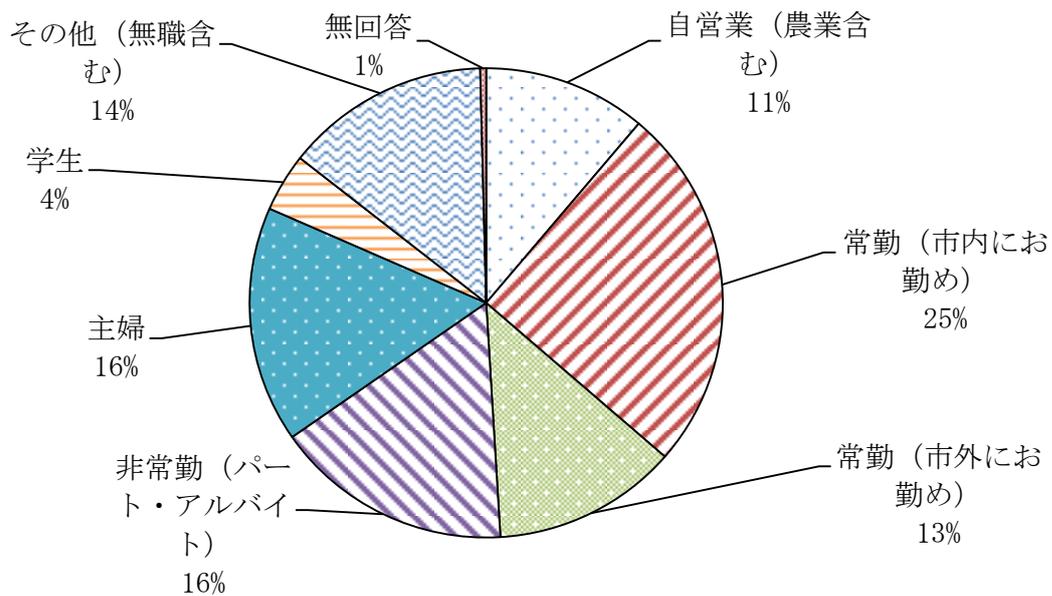
回答者数（人）、回答割合（%）

	合計	10代	20代	30代	40代	50代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	無回答
全体	1721	54	135	206	274	273	192	196	210	180	1
	100.0%	3.1%	7.8%	12.0%	15.9%	15.9%	11.2%	11.4%	12.2%	10.5%	0.1%
男性	771	21	54	88	124	116	91	87	100	90	0
	44.8%	1.2%	3.1%	5.1%	7.2%	6.7%	5.3%	5.1%	5.8%	5.2%	0.0%
女性	948	33	81	118	150	157	101	109	110	89	0
	55.1%	1.9%	4.7%	6.9%	8.7%	9.1%	5.9%	6.3%	6.4%	5.2%	0.0%
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%



(4) 職業

	回答数	回答率
自営業（農業含む）	192	11.2%
常勤（市内にお勤め）	434	25.2%
常勤（市外にお勤め）	218	12.7%
非常勤（パート・アルバイト）	280	16.3%
主婦	280	16.3%
学生	69	4.0%
その他（無職含む）	241	14.0%
無回答	7	0.4%
合計	1721	100.0%

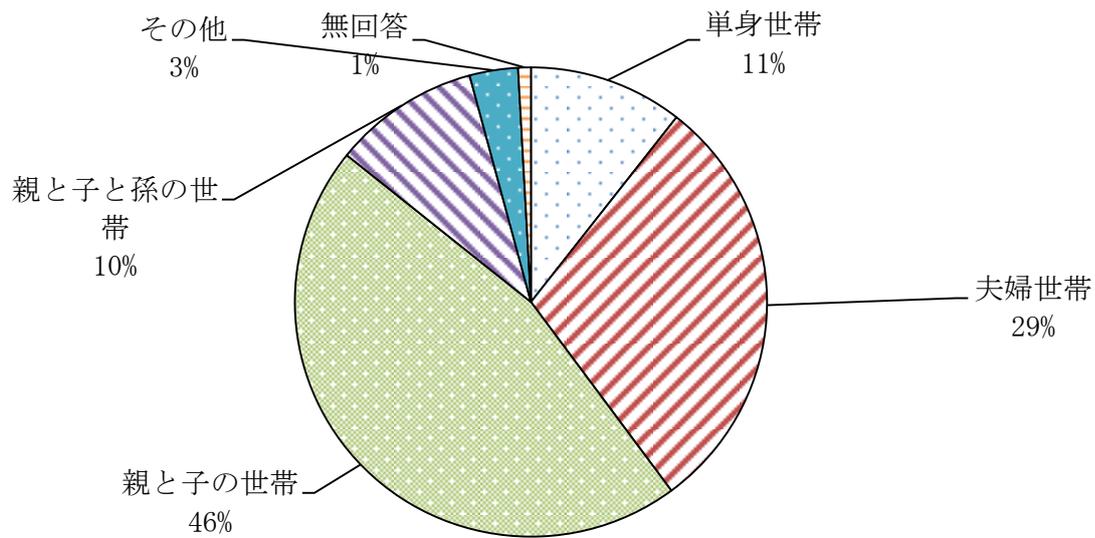


【「その他」の主な回答】

- 年金受給者
- 家事手伝い
- 育休

(5) 世帯構成 (その1)

	回答数	回答率
単身世帯	182	10.6%
夫婦世帯	504	29.3%
親と子の世帯	790	45.9%
親と子と孫の世帯	173	10.1%
その他	57	3.3%
無回答	15	0.9%
合計	1721	100.0%

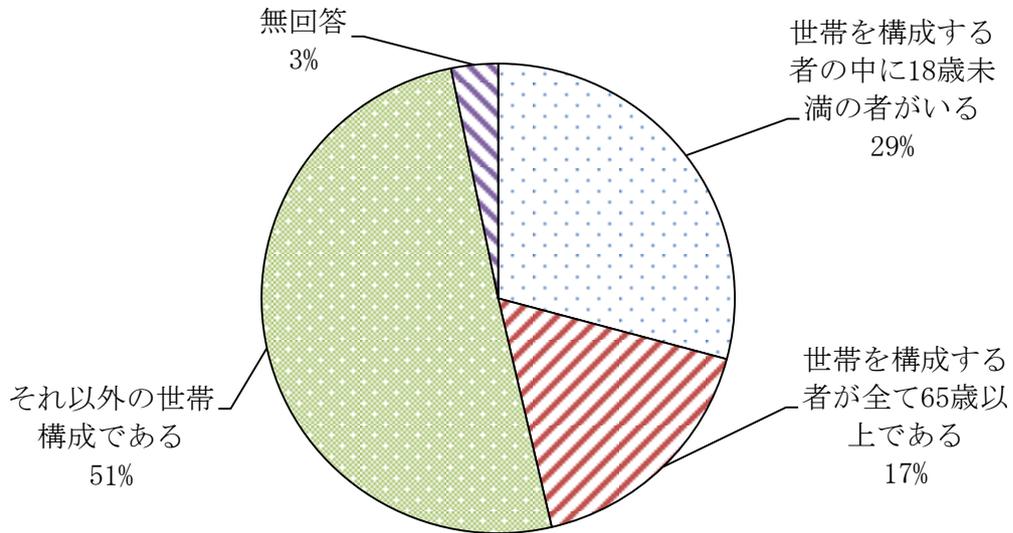


【「その他」の主な回答】

- 兄弟
- 叔父
- 叔母
- 恋人

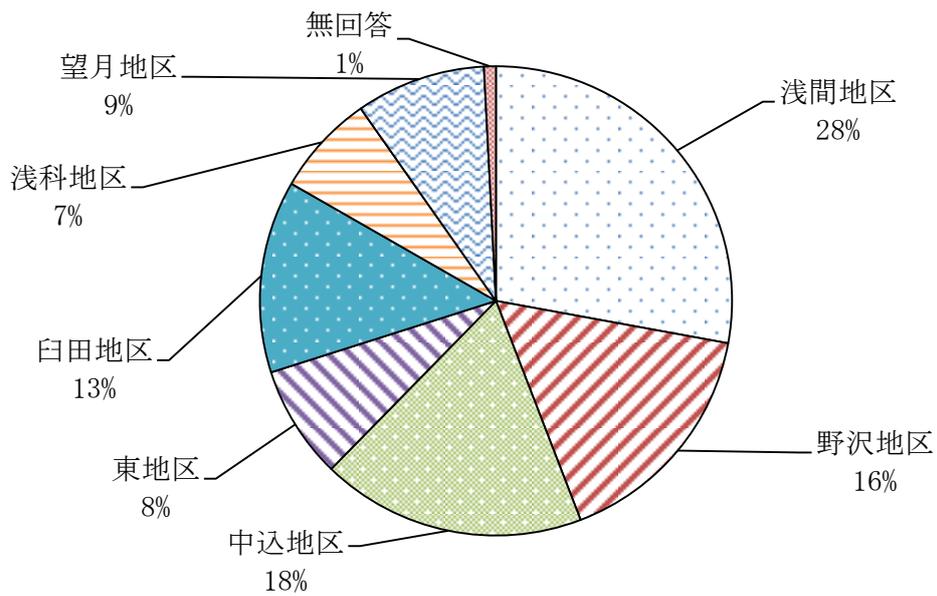
(6) 世帯構成 (その2)

	回答数	回答率
世帯を構成する者の中に18歳未満の者がいる	502	29.2%
世帯を構成する者が全て65歳以上である	296	17.2%
それ以外の世帯構成である	868	50.4%
無回答	55	3.2%
合計	1721	100.0%



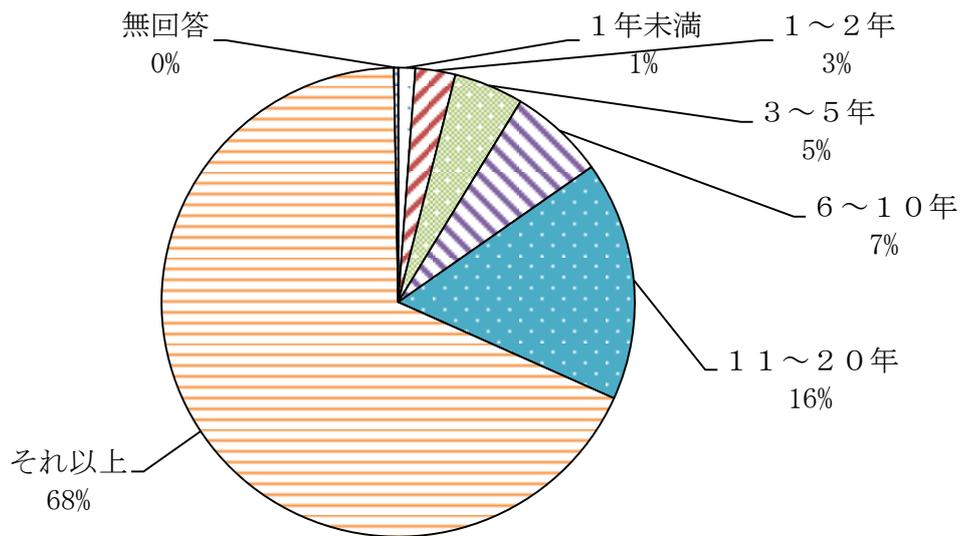
(7) お住いの地域

	回答数	回答率
浅間地区	480	27.9%
野沢地区	280	16.3%
中込地区	312	18.1%
東地区	134	7.8%
白田地区	228	13.2%
浅科地区	120	7.0%
望月地区	153	8.9%
無回答	14	0.8%
合計	1721	100.0%



(8) 佐久市の在住年数

	回答数	回答率
1年未満	20	1.2%
1～2年	47	2.7%
3～5年	82	4.8%
6～10年	113	6.6%
11～20年	284	16.5%
それ以上	1170	68.0%
無回答	5	0.3%
合計	1721	100.0%



II 結果の概要

1. 佐久市の主要施策への満足度・重要度

以下の「7の施策分野」における「49の施策」について調査した。

記載例

施策分野	
施策	
教育・文化 幼児教育 学校教育 高校教育・高等教育 青少年健全育成 文化・芸術 生涯学習 スポーツ 人権尊重社会 男女共同参画社会	保健・医療・福祉 健康増進 保健活動 医療 医療保険・国民年金 地域福祉 介護・高齢者福祉 障がい者福祉 ひとり親家庭支援・低所得者福祉 少子化対策・母子保健 子育て支援・児童福祉
土地利用・都市基盤 土地利用 市街地 公共施設 住宅 高速交通ネットワーク 地域交通ネットワーク	環境 環境保全 街並み緑化・公園・景観形成 地球温暖化対策 環境衛生 上水道 下水道
経済・産業 農業 林業 水産業 商業・サービス業 観光 工業 就労・雇用	防災・安全 防災 消防・救急 交通安全 防犯 消費生活
	市民生活・協働・交流 市民協働・参加 地域コミュニティ 行財政経営 高度情報通信ネットワーク 地域間交流・国際交流 広域連携

(1) 施策分野別満足度

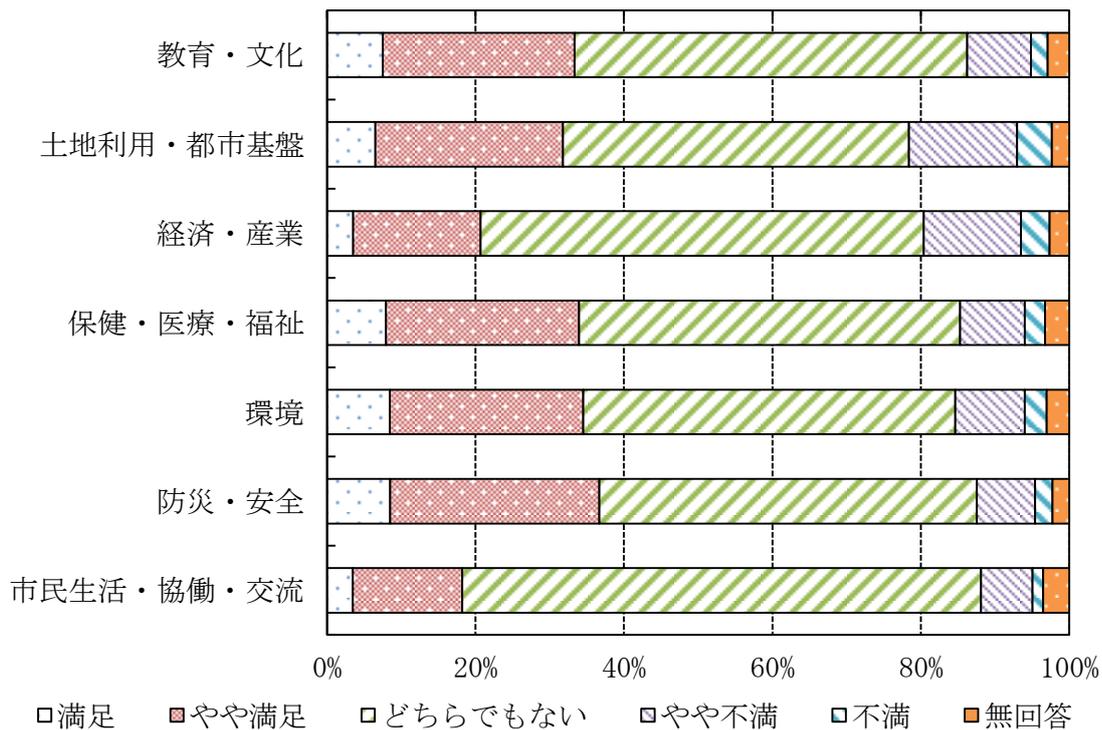
「満足」「やや満足」の合計は高い順に、「防災・安全」36.7%、「環境」34.5%、「保健・医療・福祉」34.0%となっている。一方、「市民生活・協働・交流」18.2%、「経済・産業」20.7%が低い。

「不満」「やや不満」の合計は高い順に、「土地利用・都市基盤」19.2%、「経済・産業」17.0%となっている。一方、「市民生活・協働・交流」8.3%、「防災・安全」10.2%が低い。

このことから、満足度では、「経済・産業」が課題であると考えられる。

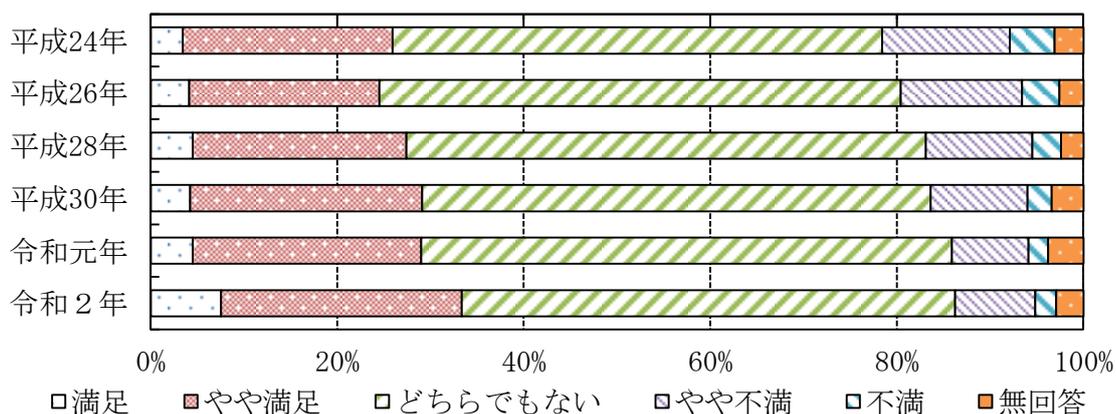
ア. 施策分野別満足度（令和2年調査）

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
教育・文化	7.5%	25.8%	52.9%	8.6%	2.2%	2.9%
土地利用・都市基盤	6.5%	25.3%	46.6%	14.5%	4.7%	2.4%
経済・産業	3.5%	17.1%	59.7%	13.1%	3.9%	2.6%
保健・医療・福祉	7.9%	26.0%	51.3%	8.7%	2.7%	3.3%
環境	8.4%	26.1%	50.1%	9.4%	3.0%	3.0%
防災・安全	8.5%	28.1%	50.9%	7.8%	2.3%	2.3%
市民生活・協働・交流	3.5%	14.8%	69.9%	6.9%	1.4%	3.5%



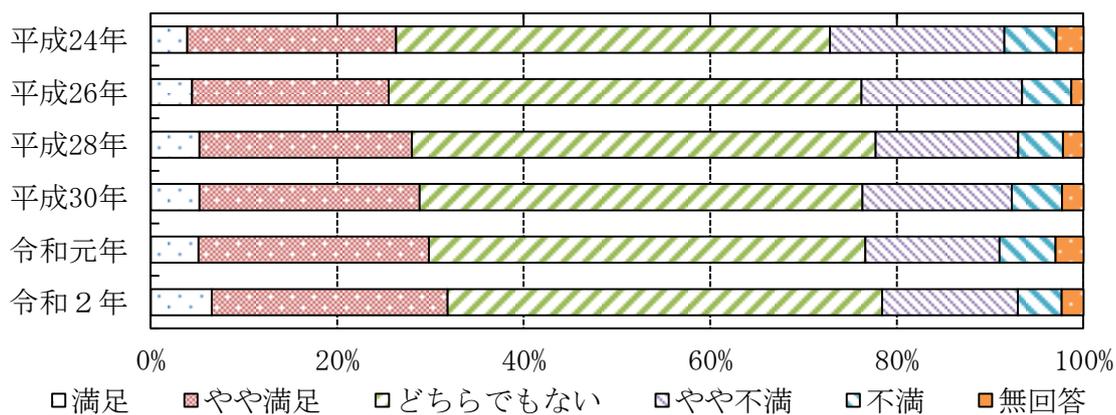
イ. 教育・文化

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
平成24年	3.4%	22.5%	52.5%	13.7%	4.8%	3.1%
平成26年	4.1%	20.4%	55.9%	13.0%	4.0%	2.6%
平成28年	4.5%	22.9%	55.7%	11.4%	3.1%	2.4%
平成30年	4.2%	24.9%	54.5%	10.4%	2.6%	3.4%
令和元年	4.5%	24.5%	56.9%	8.2%	2.1%	3.8%
令和2年	7.5%	25.8%	52.9%	8.6%	2.2%	2.9%



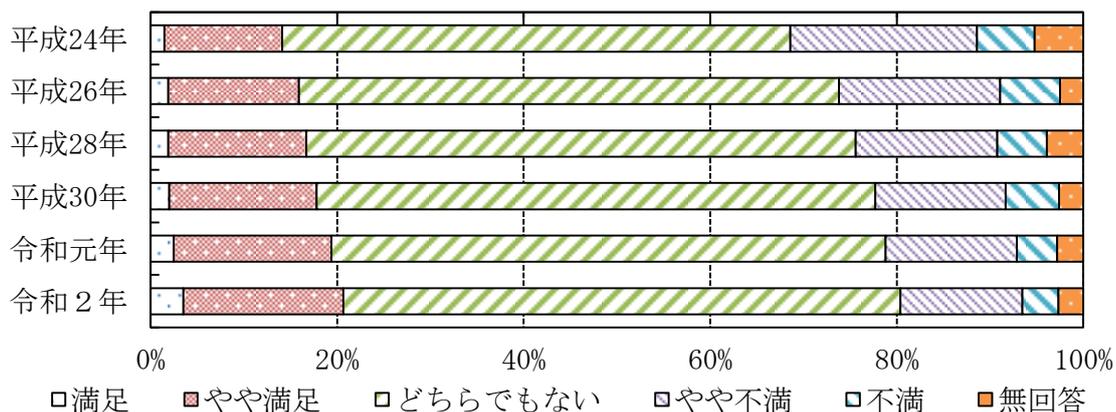
ウ. 土地利用・都市基盤

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
平成24年	3.9%	22.4%	46.5%	18.7%	5.6%	2.9%
平成26年	4.4%	21.1%	50.7%	17.2%	5.3%	1.3%
平成28年	5.2%	22.8%	49.7%	15.3%	4.8%	2.2%
平成30年	5.2%	23.6%	47.5%	16.0%	5.4%	2.3%
令和元年	5.1%	24.7%	46.8%	14.4%	6.0%	3.0%
令和2年	6.5%	25.3%	46.6%	14.5%	4.7%	2.4%



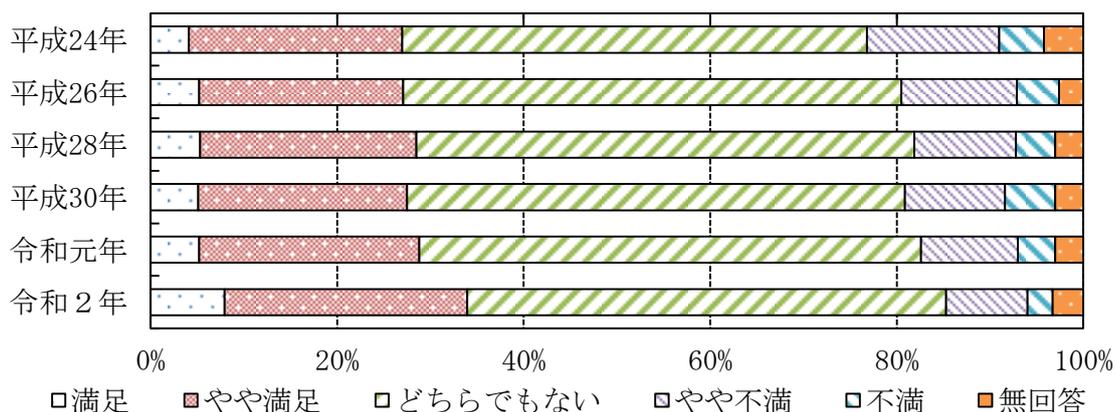
エ. 経済・産業

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
平成24年	1.5%	12.6%	54.5%	20.0%	6.2%	5.2%
平成26年	1.9%	14.0%	57.9%	17.3%	6.4%	2.5%
平成28年	1.9%	14.8%	58.9%	15.2%	5.3%	3.9%
平成30年	2.0%	15.8%	59.9%	14.0%	5.7%	2.6%
令和元年	2.5%	16.9%	59.4%	14.1%	4.3%	2.8%
令和2年	3.5%	17.1%	59.7%	13.1%	3.9%	2.6%



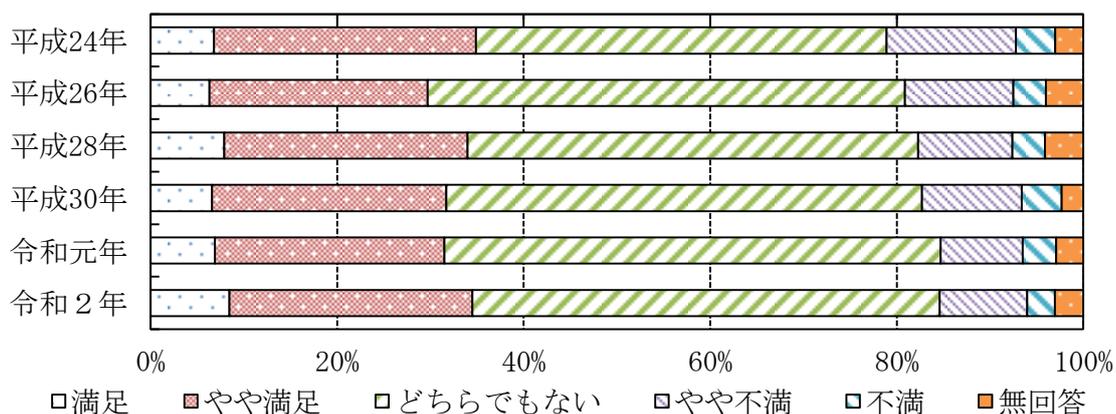
オ. 保健・医療・福祉

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
平成24年	4.1%	22.9%	49.8%	14.2%	4.8%	4.2%
平成26年	5.2%	21.9%	53.4%	12.4%	4.5%	2.6%
平成28年	5.3%	23.2%	53.4%	10.9%	4.2%	3.0%
平成30年	5.1%	22.4%	53.4%	10.7%	5.4%	3.0%
令和元年	5.2%	23.6%	53.8%	10.4%	4.0%	3.0%
令和2年	7.9%	26.0%	51.3%	8.7%	2.7%	3.3%



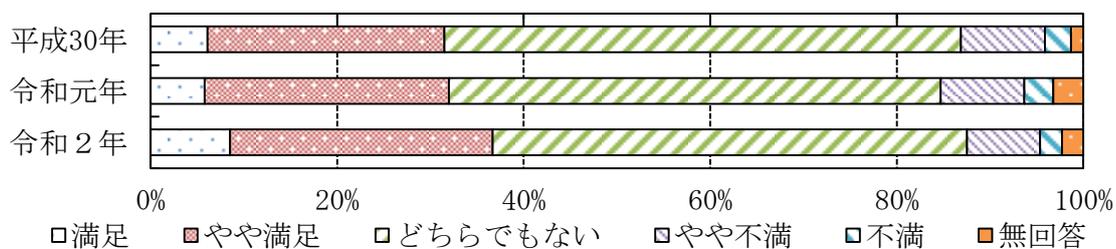
カ. 環境

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
平成24年	6.8%	28.1%	44.0%	13.9%	4.2%	3.0%
平成26年	6.3%	23.4%	51.2%	11.6%	3.5%	4.0%
平成28年	7.9%	26.1%	48.3%	10.1%	3.5%	4.1%
平成30年	6.6%	25.1%	51.0%	10.7%	4.3%	2.3%
令和元年	6.9%	24.6%	53.2%	8.8%	3.6%	2.9%
令和2年	8.4%	26.1%	50.1%	9.4%	3.0%	3.0%



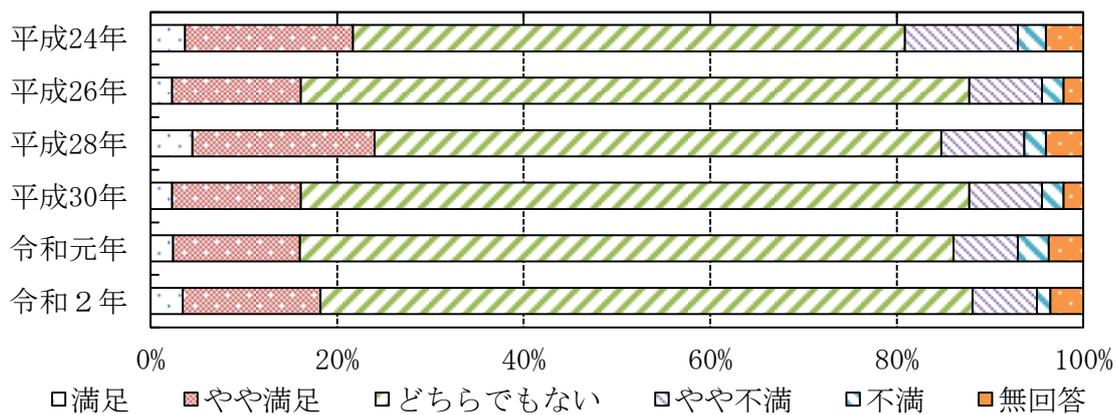
キ. 防災・安全

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
平成30年	6.1%	25.4%	55.4%	9.0%	2.8%	1.3%
令和元年	5.8%	26.2%	52.7%	9.0%	3.1%	3.2%
令和2年	8.5%	28.1%	50.9%	7.8%	2.3%	2.3%



ク. 市民生活・協働・交流

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答
平成24年	3.7%	18.0%	59.2%	12.1%	3.0%	4.0%
平成26年	2.3%	13.8%	71.7%	7.8%	2.3%	2.1%
平成28年	4.5%	19.5%	60.8%	8.9%	2.3%	4.0%
平成30年	2.3%	13.8%	71.7%	7.8%	2.3%	2.1%
令和元年	2.4%	13.6%	70.1%	6.9%	3.3%	3.7%
令和2年	3.5%	14.8%	69.9%	6.9%	1.4%	3.5%



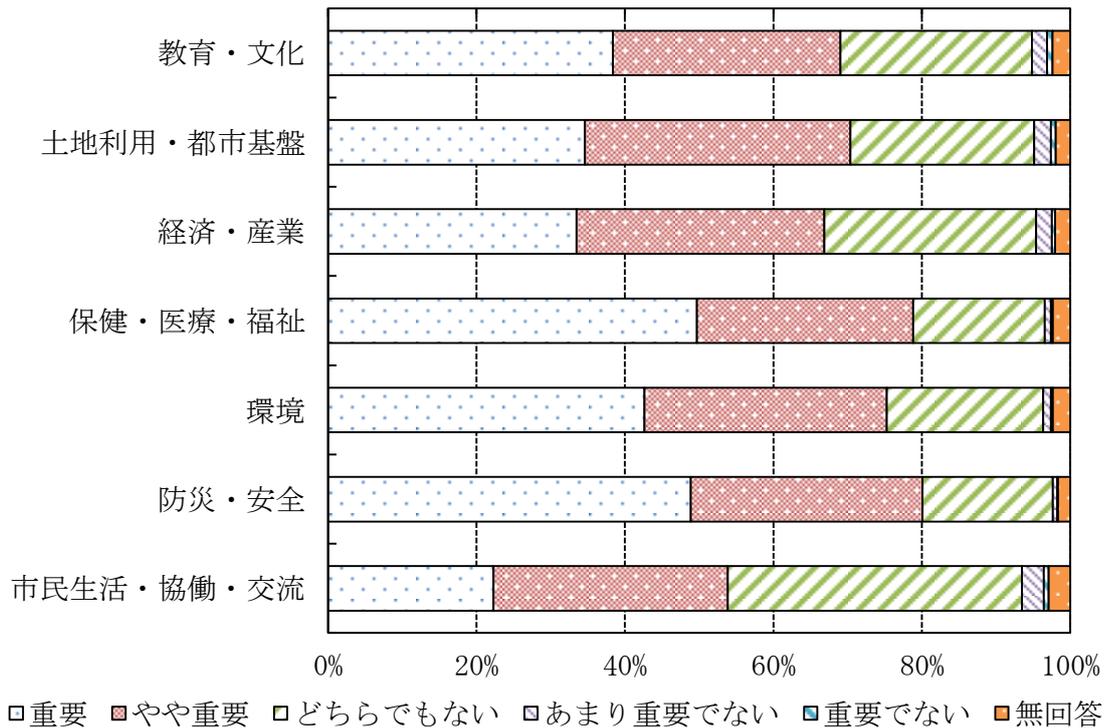
(2) 施策分野別重要度

ア. 施策分野別重要度（令和2年調査）

「重要」「やや重要」の合計は高い順に、「防災・安全」80.1%、「保健・医療・福祉」78.8%、「環境」75.3%となっている。一方、「市民生活・協働・交流」53.9%、「経済・産業」66.9%が低い。

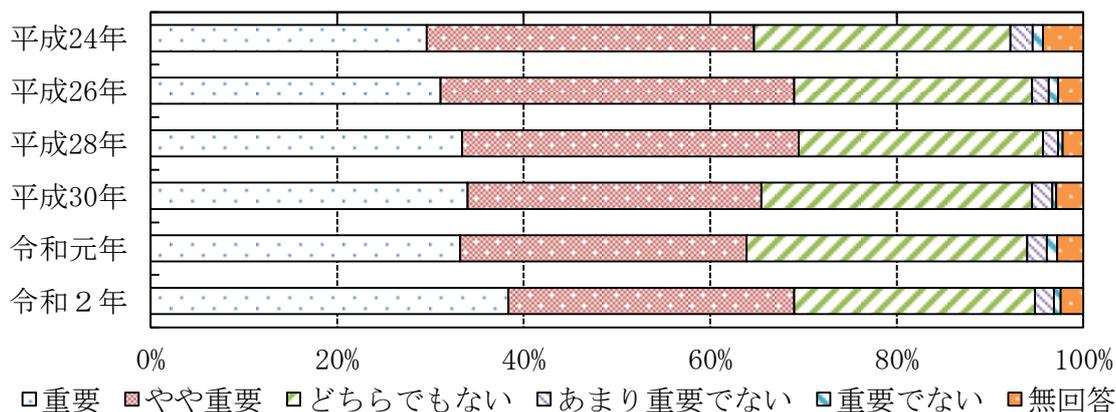
このことから、重要度では、暮らしに直結している項目が重要と回答されており、市民が安心して暮らせるまちづくりが重要であると考えられる。

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
教育・文化	38.4%	30.6%	25.8%	2.0%	0.7%	2.4%
土地利用・都市基盤	34.6%	35.7%	24.8%	2.3%	0.7%	2.0%
経済・産業	33.5%	33.4%	28.5%	2.1%	0.4%	2.1%
保健・医療・福祉	49.7%	29.1%	17.7%	0.8%	0.3%	2.3%
環境	42.6%	32.6%	21.1%	1.0%	0.3%	2.3%
防災・安全	48.9%	31.2%	17.6%	0.6%	0.1%	1.7%
市民生活・協働・交流	22.3%	31.6%	39.6%	3.0%	0.6%	2.9%



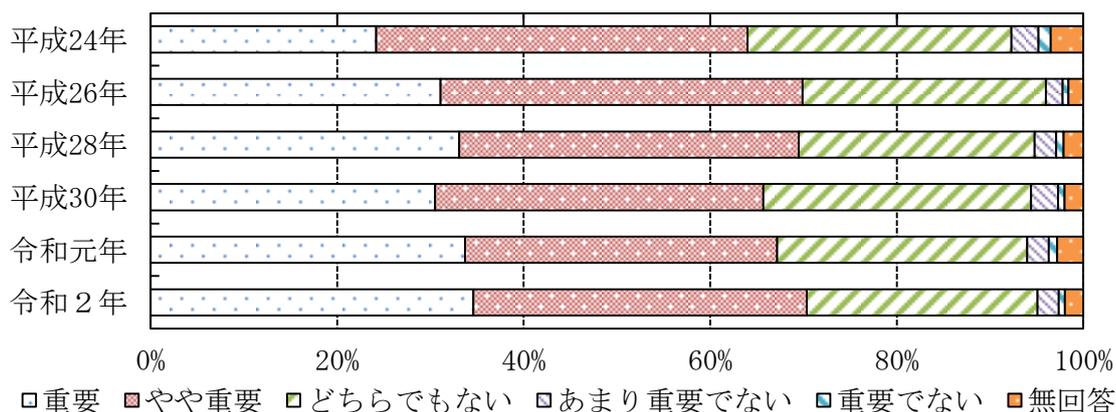
イ. 教育・文化

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	29.6%	35.1%	27.5%	2.4%	1.1%	4.3%
平成26年	31.1%	37.9%	25.5%	1.8%	1.0%	2.7%
平成28年	33.4%	36.1%	26.2%	1.6%	0.5%	2.2%
平成30年	34.0%	31.5%	29.0%	2.2%	0.4%	2.9%
令和元年	33.2%	30.7%	30.1%	2.1%	1.1%	2.8%
令和2年	38.4%	30.6%	25.8%	2.0%	0.7%	2.4%



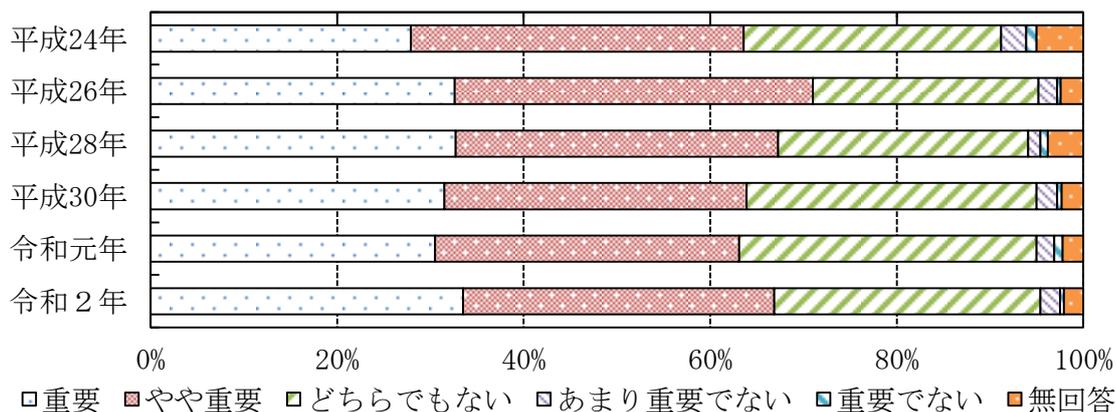
ウ. 土地利用・都市基盤

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	24.2%	39.8%	28.3%	2.9%	1.3%	3.5%
平成26年	31.1%	38.8%	26.1%	1.8%	0.6%	1.6%
平成28年	33.1%	36.4%	25.3%	2.3%	0.8%	2.1%
平成30年	30.5%	35.2%	28.7%	2.9%	0.7%	2.0%
令和元年	33.7%	33.5%	26.8%	2.3%	0.9%	2.8%
令和2年	34.6%	35.7%	24.8%	2.3%	0.7%	2.0%



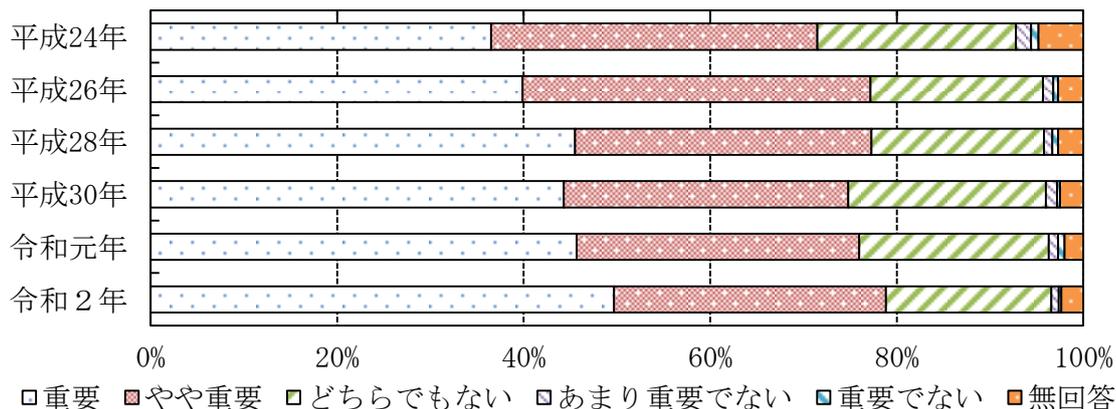
エ. 経済・産業

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	27.9%	35.7%	27.6%	2.7%	1.1%	5.0%
平成26年	32.6%	38.4%	24.2%	2.0%	0.4%	2.4%
平成28年	32.7%	34.6%	26.8%	1.3%	0.8%	3.8%
平成30年	31.5%	32.4%	31.1%	2.2%	0.5%	2.3%
令和元年	30.5%	32.6%	31.9%	1.9%	0.9%	2.2%
令和2年	33.5%	33.4%	28.5%	2.1%	0.4%	2.1%



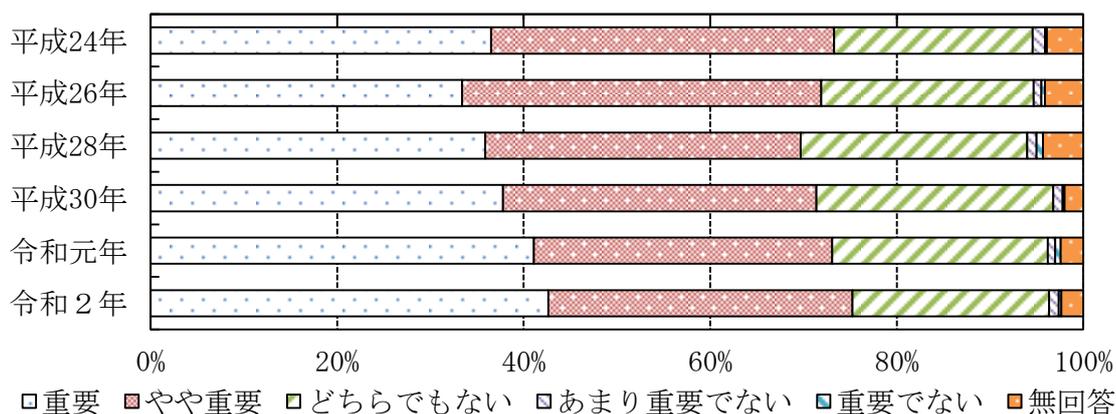
オ. 保健・医療・福祉

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	36.5%	35.0%	21.3%	1.6%	0.8%	4.8%
平成26年	39.9%	37.3%	18.5%	1.1%	0.5%	2.7%
平成28年	45.5%	31.8%	18.5%	0.9%	0.6%	2.7%
平成30年	44.3%	30.5%	21.2%	1.2%	0.3%	2.5%
令和元年	45.7%	30.3%	20.3%	1.0%	0.7%	2.0%
令和2年	49.7%	29.1%	17.7%	0.8%	0.3%	2.3%



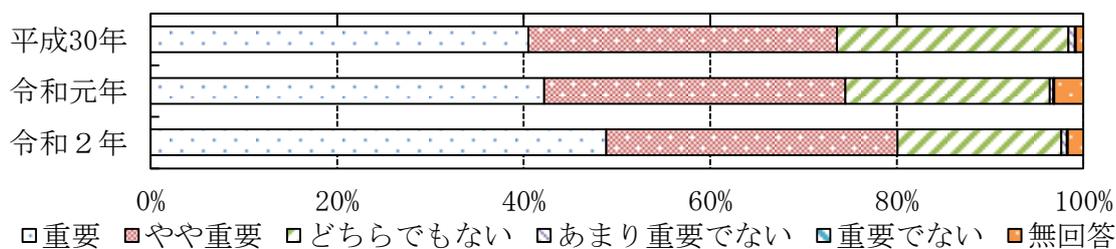
カ. 環境

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	36.5%	36.8%	21.3%	1.3%	0.2%	3.9%
平成26年	33.4%	38.5%	22.8%	0.8%	0.4%	4.1%
平成28年	35.9%	33.8%	24.3%	1.0%	0.7%	4.3%
平成30年	37.8%	33.6%	25.4%	1.0%	0.2%	2.0%
令和元年	41.1%	32.0%	23.1%	0.8%	0.6%	2.4%
令和2年	42.6%	32.6%	21.1%	1.0%	0.3%	2.3%



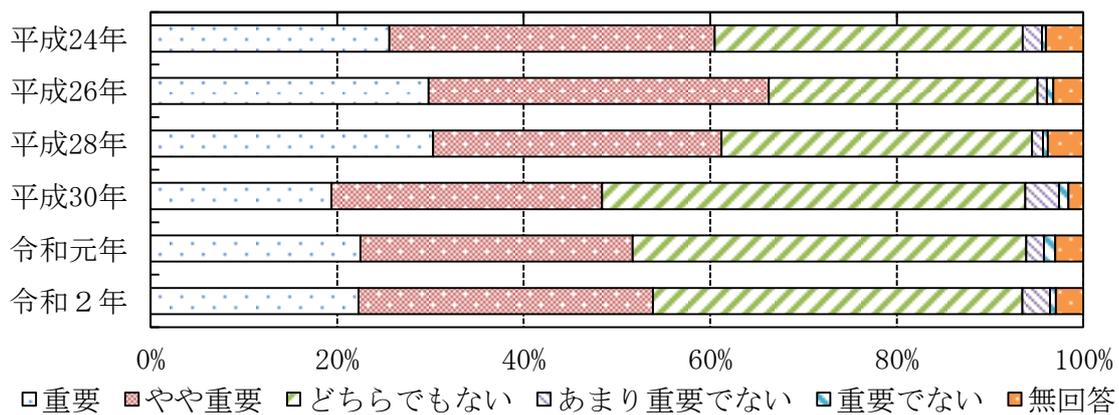
キ. 防災・安全

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成30年	40.5%	33.1%	24.8%	0.7%	0.1%	0.8%
令和元年	42.2%	32.3%	21.9%	0.4%	0.1%	3.1%
令和2年	48.9%	31.2%	17.6%	0.6%	0.1%	1.7%



ク. 市民生活・協働・交流

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	25.6%	34.9%	33.0%	2.1%	0.4%	4.0%
平成26年	29.8%	36.5%	28.8%	1.0%	0.7%	3.2%
平成28年	30.3%	30.9%	33.3%	1.2%	0.5%	3.8%
平成30年	19.4%	29.0%	45.4%	3.6%	1.0%	1.6%
令和元年	22.5%	29.2%	42.2%	1.9%	1.2%	3.0%
令和2年	22.3%	31.6%	39.6%	3.0%	0.6%	2.9%



(3) 施策分野別満足度・重要度

「満足」＋「やや満足」と「重要」＋「やや重要」ともに、「防災・安全」「環境」「保健・医療・福祉」で高い。市民が重要と考えている施策分野については、満足度も高い傾向にあり、今後も、継続的な施策の推進が重要と考えられる。

施策分野	「満足」＋「やや満足」		「重要」＋「やや重要」	
	回答割合	順位	回答割合	順位
教育・文化	32.9%	4	69.0%	5
土地利用・都市基盤	31.8%	5	70.4%	4
経済・産業	20.7%	6	66.9%	6
保健・医療・福祉	34.0%	3	78.8%	2
環境	34.5%	2	75.3%	3
防災・安全	36.7%	1	80.1%	1
市民生活・協働・交流	18.2%	7	53.9%	7

注：上位3項目が青

(4) 施策分野別満足度・重要度の得点

【得点の算出方法】

得点は以下の方法で算出した。

①それぞれの回答数に、以下の点数を乗じ、その合計値を算出する。

満足：5点／やや満足：4点／どちらでもない：3点／やや不満：2点／不満：1点
重要：5点／やや重要：4点／どちらでもない：3点／あまり重要ではない：2点
／重要ではない：1点

②その合計値を「無回答」を除く回答数で除する。

③施策分野は含まれる施策の得点の平均を得点とした。

【象限について】

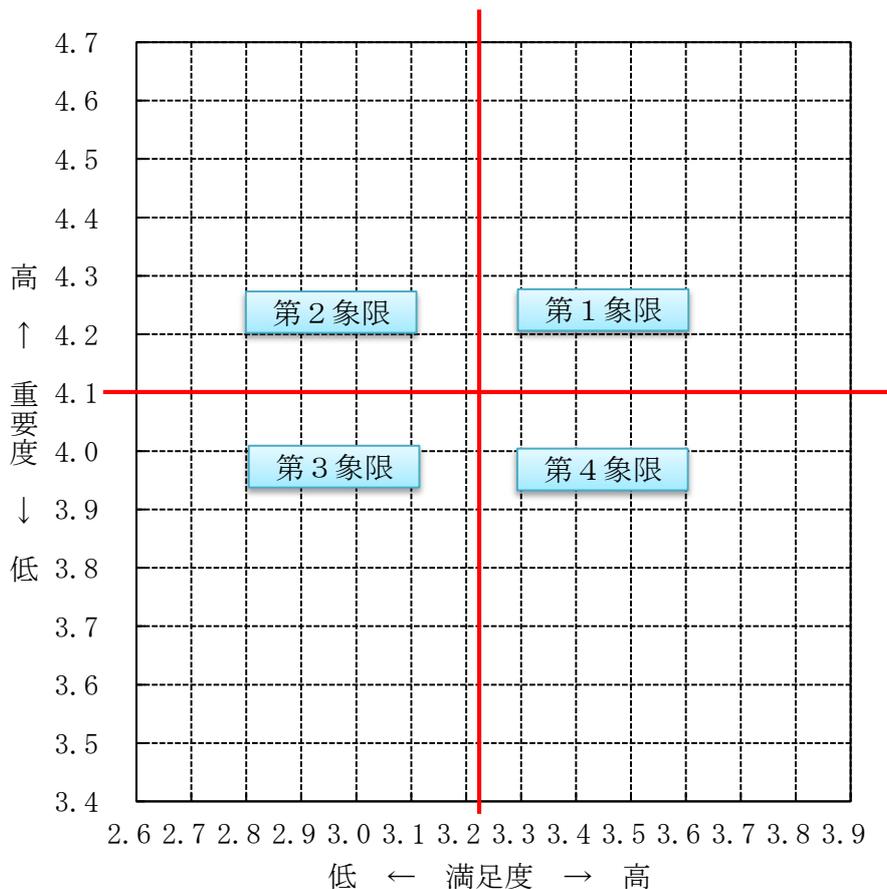
グラフにおける第1～第4象限は、満足度と重要度の得点の平均値（満足度の得点の平均値：3.22、重要度の得点の平均値：4.10）を境界とし、各象限に分けたものとする。それぞれの項目について属するエリアから、以下のように判断する。

第1象限：満足度高い・重要度高い＝より強化することが期待される

第2象限：満足度低い・重要度高い＝早急な対応が求められる

第3象限：満足度低い・重要度低い＝他施策との優先順位を考えて取り組む必要がある

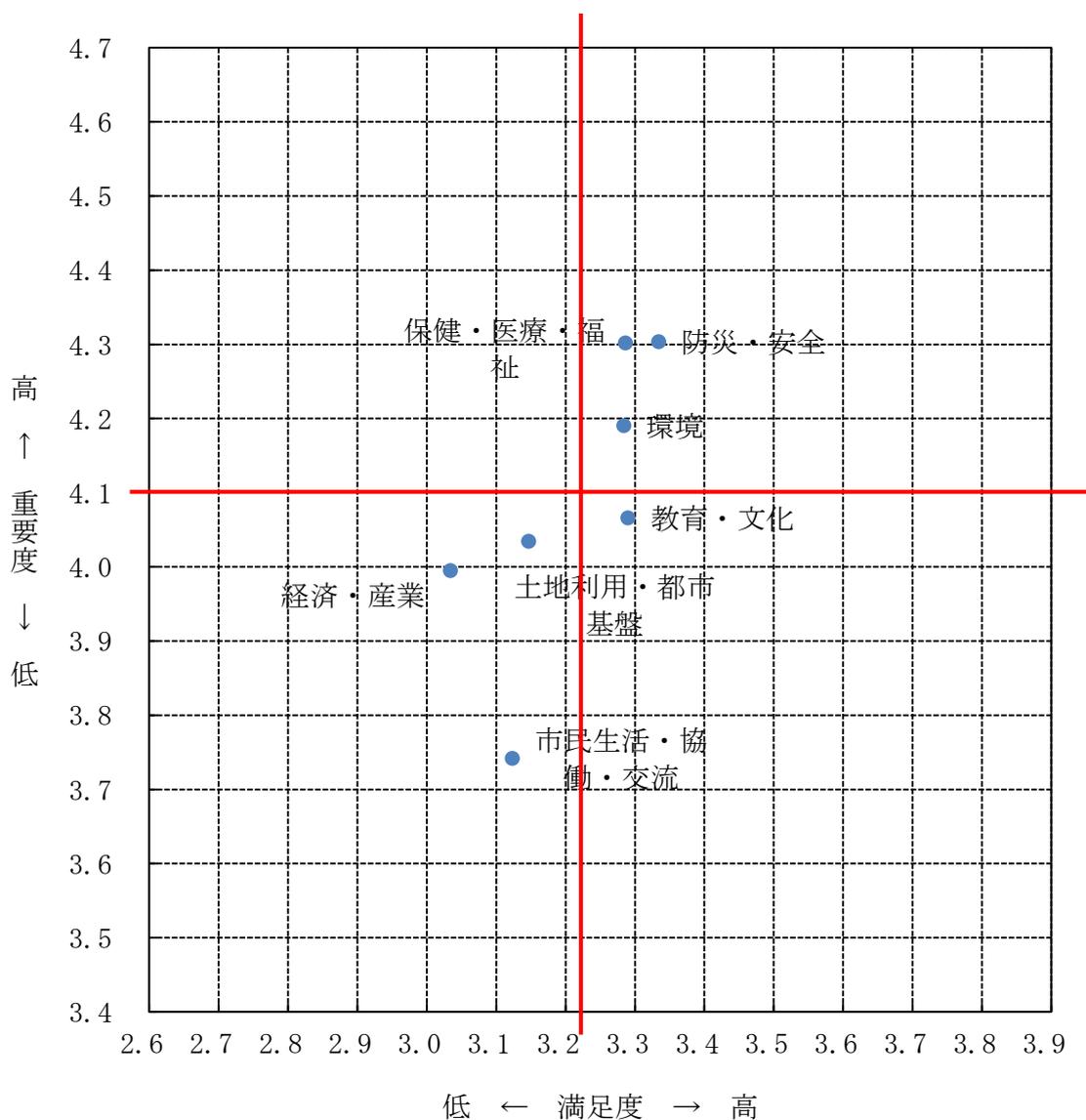
第4象限：満足度高い・重要度低い＝安定的な維持が期待される



第2象限（満足度低い・重要度高い）に入る施策分野はなく、重要度が高い施策分野は満足度も高くなっている。第3象限（満足度低い・重要度低い）には3つの施策分野が入り、重要度等に応じて必要な施策を実施することが求められる。

施策分野	満足度	重要度	象限	満足度・重要度
教育・文化	3.29	4.07	第4	満足度高い・重要度低い
土地利用・都市基盤	3.15	4.03	第3	満足度低い・重要度低い
経済・産業	3.03	3.99	第3	満足度低い・重要度低い
保健・医療・福祉	3.29	4.30	第1	満足度高い・重要度高い
環境	3.28	4.19	第1	満足度高い・重要度高い
防災・安全	3.33	4.30	第1	満足度高い・重要度高い
市民生活・協働・交流	3.12	3.74	第3	満足度低い・重要度低い

注：上位3項目が青



(5) 施策分野別満足度の得点推移

令和元年調査と比較し、すべての施策分野で満足度が上昇した。「防災・安全」は平成20年よりほかの施策分野と比較して満足度が高い。また、「教育・文化」「環境」も平成20年より満足度が高い傾向にあり、佐久市の強みであると考えられる。

施策分野	令和2年	令和元年	平成30年	平成28年	平成26年	平成24年	平成22年	平成20年
教育・文化	3.29	3.22	3.18	3.16	3.08	3.07	3.00	3.05
土地利用・都市基盤	3.15	3.09	3.08	3.09	3.02	2.99	3.07	3.09
経済・産業	3.03	2.99	2.94	2.93	2.87	2.82	2.56	2.64
保健・医療・福祉	3.29	3.16	3.11	3.15	3.11	3.08	2.98	2.94
環境	3.28	3.23	3.20	3.26	3.18	3.20	3.10	3.07
防災・安全	3.33	3.23	3.23	3.23	3.17	3.16	3.19	3.07
市民生活・協働・交流	3.12	3.05	3.06	3.09	3.03	3.01	3.00	2.98

注：上位3項目が青

(6) 施策分野別重要度の得点推移

令和元年調査と比較し、すべての施策分野で重要度が上昇した。平成20年より「保健・医療・福祉」「環境」「防災・安全」の重要度が高く、生活に直結する施策分野の重要性がわかる。

施策分野	令和2年	令和元年	平成30年	平成28年	平成26年	平成24年	平成22年	平成20年
教育・文化	4.07	3.96	3.99	4.05	4.01	3.98	4.01	4.19
土地利用・都市基盤	4.03	4.00	3.94	3.99	3.99	3.85	3.99	4.08
経済・産業	3.99	3.92	3.95	4.01	4.03	3.91	4.16	4.17
保健・医療・福祉	4.30	4.22	4.21	4.24	4.18	4.10	4.29	4.41
環境	4.19	4.15	4.10	4.08	4.08	4.12	4.32	4.39
防災・安全	4.30	4.20	4.14	4.16	4.16	4.07	4.34	4.37
市民生活・協働・交流	3.74	3.72	3.64	3.73	3.79	3.65	3.90	4.01

注：上位3項目が青

(7) 施策別満足度・重要度

施策別満足度・重要度では、「医療」がともに最も高く、満足度 55.6%、重要度 90.5%となっている。一方、「市民生活・協働・交流」の各施策は満足度、重要度ともに低く、市民の関心が低い可能性がある。

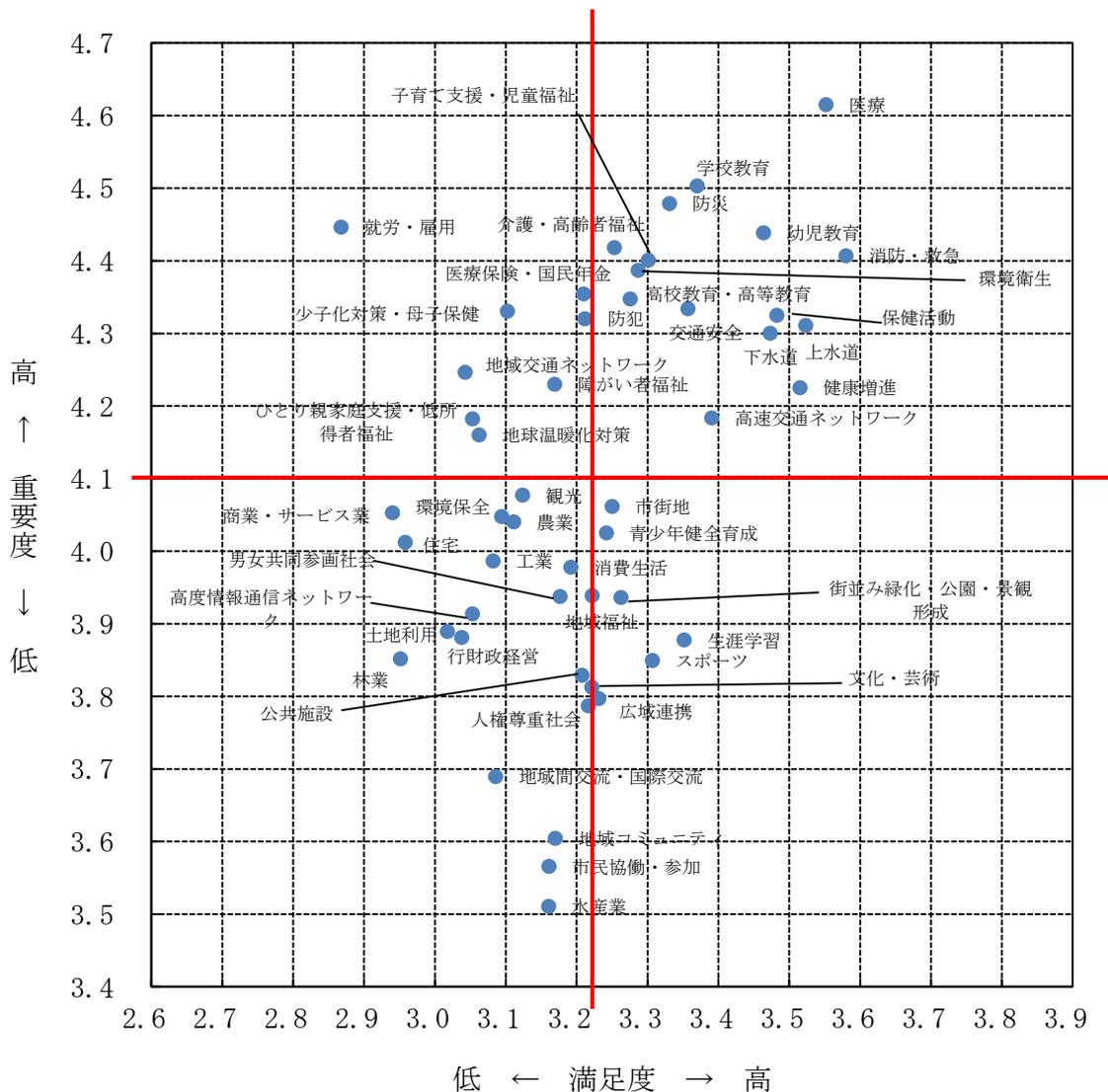
施策分野	施策	「満足」＋「やや満足」		「重要」＋「やや重要」	
		回答割合	順位	回答割合	順位
教育・文化	幼児教育	43.2%	8	82.2%	8
	学校教育	41.8%	10	83.9%	4
	高校教育・高等教育	32.7%	19	79.1%	16
	青少年健全育成	27.3%	26	66.3%	33
	文化・芸術	31.1%	21	61.2%	40
	生涯学習	36.7%	14	64.6%	34
	スポーツ	36.0%	15	63.9%	36
	人権尊重社会	23.5%	30	56.2%	45
	男女共同参画社会	24.1%	28	63.6%	37
都市基盤・土地利用	土地利用	20.6%	37	61.9%	39
	市街地	42.5%	9	74.5%	22
	公共施設	31.0%	22	61.0%	41
	住宅	18.2%	42	69.3%	28
	高速交通ネットワーク	48.1%	3	76.5%	20
	地域交通ネットワーク	30.4%	24	79.0%	17
経済・産業	農業	23.4%	31	69.4%	27
	林業	12.8%	49	59.2%	42
	水産業	19.1%	41	42.9%	49
	商業・サービス業	20.7%	36	72.6%	25
	観光	30.4%	24	73.7%	24
	工業	20.6%	37	66.5%	31
	就労・雇用	17.7%	45	83.8%	5
保健・医療・福祉	健康増進	47.6%	4	77.5%	19
	保健活動	46.1%	5	81.9%	10
	医療	55.6%	1	90.5%	1
	医療保険・国民年金	33.2%	18	80.8%	13
	地域福祉	24.9%	27	64.1%	35
	介護・高齢者福祉	32.5%	20	83.7%	6
	障がい者福祉	23.2%	33	75.9%	21
	ひとり親家庭支援・低所得者福祉	17.9%	44	74.5%	22
	少子化対策・母子保健	23.2%	32	77.7%	18
子育て支援・児童福祉	35.2%	16	81.8%	11	
環境	環境保全	21.1%	35	69.0%	29
	街並み緑化・公園・景観形成	34.7%	17	66.4%	32
	地球温暖化対策	19.9%	40	71.9%	26
	環境衛生	41.1%	11	85.1%	3
	上水道	45.3%	6	80.0%	14
	下水道	44.9%	7	79.3%	15
防災・安全	防災	40.8%	12	86.2%	2
	消防・救急	48.8%	2	83.2%	7
	交通安全	39.9%	13	81.8%	12
	防犯	30.9%	23	82.2%	9
	消費生活	22.9%	34	67.0%	30
市民生活・協働・交流	市民協働・参加	17.9%	43	44.5%	48
	地域コミュニティ	20.1%	39	48.2%	47
	行財政経営	14.9%	48	57.6%	43
	高度情報通信ネットワーク	16.6%	46	61.9%	38
	地域間交流・国際交流	16.2%	47	54.0%	46
	広域連携	23.7%	29	56.8%	44

注：上位 10 項目が青

(8) 施策別満足度・重要度の得点

第1象限（満足度高い・重要度高い）に「医療」分野、「教育」分野、「生活インフラ」分野、「安全」分野が多く入り、佐久市は生活しやすいと考える市民が多いと見られる。一方、早急な対応が求められる第2象限（満足度低い・重要度高い）には、「就労・雇用」「福祉」分野が入り、対応を検討する必要がある。

第3象限（満足度低い・重要度低い）には産業が入るが、これは市民生活と直結していないためと考えられる。



施策分野	施策	満足度	重要度	象限	満足度・重要度
教育・文化	幼児教育	3.46	4.44	第1	満足度高い・重要度高い
	学校教育	3.37	4.50	第1	満足度高い・重要度高い
	高校教育・高等教育	3.28	4.35	第1	満足度高い・重要度高い
	青少年健全育成	3.24	4.03	第4	満足度高い・重要度低い
	文化・芸術	3.21	3.83	第3	満足度低い・重要度低い
	生涯学習	3.35	3.88	第4	満足度高い・重要度低い
	スポーツ	3.31	3.85	第4	満足度高い・重要度低い
	人権尊重社会	3.22	3.79	第3	満足度低い・重要度低い
	男女共同参画社会	3.18	3.94	第3	満足度低い・重要度低い
都市基盤・土地利用	土地利用	3.02	3.89	第3	満足度低い・重要度低い
	市街地	3.25	4.06	第4	満足度高い・重要度低い
	公共施設	3.22	3.81	第4	満足度高い・重要度低い
	住宅	2.96	4.01	第3	満足度低い・重要度低い
	高速交通ネットワーク	3.39	4.18	第1	満足度高い・重要度高い
	地域交通ネットワーク	3.04	4.25	第2	満足度低い・重要度高い
経済・産業	農業	3.11	4.04	第3	満足度低い・重要度低い
	林業	2.95	3.85	第3	満足度低い・重要度低い
	水産業	3.16	3.51	第3	満足度低い・重要度低い
	商業・サービス業	2.94	4.05	第3	満足度低い・重要度低い
	観光	3.12	4.08	第3	満足度低い・重要度低い
	工業	3.08	3.99	第3	満足度低い・重要度低い
	就労・雇用	2.87	4.45	第2	満足度低い・重要度高い
	保健・医療・福祉	健康増進	3.52	4.23	第1
保健活動		3.48	4.32	第1	満足度高い・重要度高い
医療		3.55	4.61	第1	満足度高い・重要度高い
医療保険・国民年金		3.21	4.35	第2	満足度低い・重要度高い
地域福祉		3.22	3.94	第4	満足度高い・重要度低い
介護・高齢者福祉		3.25	4.42	第1	満足度高い・重要度高い
障がい者福祉		3.17	4.23	第2	満足度低い・重要度高い
ひとり親家庭支援・低所得者福祉		3.05	4.18	第2	満足度低い・重要度高い
少子化対策・母子保健		3.10	4.33	第2	満足度低い・重要度高い
子育て支援・児童福祉		3.30	4.40	第1	満足度高い・重要度高い
環境	環境保全	3.09	4.05	第3	満足度低い・重要度低い
	街並み緑化・公園・景観形成	3.26	3.94	第4	満足度高い・重要度低い
	地球温暖化対策	3.06	4.16	第2	満足度低い・重要度高い
	環境衛生	3.29	4.39	第1	満足度高い・重要度高い
	上水道	3.52	4.31	第1	満足度高い・重要度高い
	下水道	3.47	4.30	第1	満足度高い・重要度高い
防災・安全	防災	3.33	4.48	第1	満足度高い・重要度高い
	消防・救急	3.58	4.41	第1	満足度高い・重要度高い
	交通安全	3.36	4.33	第1	満足度高い・重要度高い
	防犯	3.21	4.32	第2	満足度低い・重要度高い
	消費生活	3.19	3.98	第3	満足度低い・重要度低い
市民協働・生活交流	市民協働・参加	3.16	3.57	第3	満足度低い・重要度低い
	地域コミュニティ	3.17	3.60	第3	満足度低い・重要度低い
	行財政経営	3.04	3.88	第3	満足度低い・重要度低い
	高度情報通信ネットワーク	3.05	3.91	第3	満足度低い・重要度低い
	地域間交流・国際交流	3.09	3.69	第3	満足度低い・重要度低い
	広域連携	3.23	3.80	第4	満足度高い・重要度低い

注：上位10項目が青

(9) 施策別満足度の得点推移

令和元年と比較して、多くの施策で満足度が上昇した。

調査の都度、上位に入ることが多い施策は「生涯学習」「高速交通ネットワーク」「健康増進」「保健活動」「医療」「上水道」「下水道」「消防・救急」となっている。近年は、「幼児教育」「学校教育」も上位に入る。

施策分野	施策	令和2年	令和元年	平成30年	平成28年	平成26年	平成24年	平成22年	平成20年	備考
教育・文化	幼児教育	3.46	3.32	3.32	3.21	3.04	3.13	2.79	2.82	注1
	学校教育	3.37	3.24	3.27	3.16	3.14	3.02	2.79	2.82	注1
	高校教育・高等教育	3.28	3.15	3.16	3.02	3.03	2.99	—	—	
	青少年健全育成	3.24	3.18	3.13	3.15	3.06	3.04	2.97	2.98	
	文化・芸術	3.21	3.21	3.13	3.12	2.93	2.99	3.02	3.10	
	生涯学習	3.35	3.36	3.29	3.32	3.25	3.25	3.33	3.39	
	スポーツ	3.31	3.25	3.13	3.17	3.15	3.02	3.04	3.11	
	人権尊重社会	3.22	3.14	3.14	3.15	3.09	3.08	3.14	3.10	注2
	男女共同参画社会	3.18	3.12	3.07	3.10	3.03	3.10	2.93	—	
都市基盤・土地利用	土地利用	3.02	2.95	2.93	2.99	2.87	2.82	—	—	
	市街地	3.25	3.17	3.10	2.99	2.94	2.80	2.91	2.96	注3
	公共施設	3.22	3.16	3.01	3.09	3.02	2.93	—	—	
	住宅	2.96	2.94	2.89	3.01	2.88	2.88	2.91	2.96	注3
	高速交通ネットワーク	3.39	3.35	3.47	3.46	3.40	3.45	3.75	3.68	
地域交通ネットワーク	3.04	2.95	3.05	2.97	3.03	3.06	2.72	2.74		
経済・産業	農業	3.11	3.06	3.00	3.01	2.92	2.93	2.44	2.41	
	林業	2.95	2.92	2.86	2.85	2.88	2.84	2.57	2.80	注4
	水産業	3.16	3.14	3.08	3.08	3.08	3.01	3.19	2.80	注4
	商業・サービス業	2.94	2.87	2.84	2.87	2.85	2.86	2.50	2.55	
	観光	3.12	3.10	3.03	3.03	2.89	2.85	2.65	2.90	
	工業	3.08	3.02	3.00	2.98	2.86	2.82	2.56	2.75	
	就労・雇用	2.87	2.84	2.80	2.67	2.64	2.46	2.03	2.26	注5
	健康増進	3.52	3.33	3.29	3.32	3.31	3.25	3.25	3.21	注6
保健・医療・福祉	保健活動	3.48	3.32	3.28	3.19	3.30	3.23	—	—	
	医療	3.55	3.34	3.37	3.33	3.23	3.11	2.93	2.75	注7
	医療保険・国民年金	3.21	2.97	2.92	3.07	3.01	2.82	2.91	2.74	注8
	地域福祉	3.22	3.14	3.09	3.10	3.00	3.07	3.03	2.96	注9
	介護・高齢者福祉	3.25	3.09	3.08	3.09	2.97	3.00	2.79	2.83	注10
	障がい者福祉	3.17	3.10	3.01	3.06	3.01	2.99	2.84	2.85	
	ひとり親家庭支援・低所得者福祉	3.05	2.95	2.92	2.92	2.91	2.94	2.75	2.75	注11
	少子化対策・母子保健	3.10	3.10	3.01	3.22	3.24	3.14	—	—	注12
	子育て支援・児童福祉	3.30	3.27	3.16	3.20	3.13	3.20	3.30	3.39	注13
	環境	環境保全	3.09	3.11	3.06	3.05	3.04	3.07	2.90	2.71
街並み緑化・公園・景観形成	3.26	3.24	3.12	3.17	3.10	2.93	2.84	2.85	注15	
地球温暖化対策	3.06	3.01	2.98	—	—	—	—	—		
環境衛生	3.29	3.22	3.18	3.18	3.08	3.16	2.82	2.81	注16	
上水道	3.52	3.45	3.45	3.47	3.38	3.45	3.59	3.50	注17	
下水道	3.47	3.36	3.38	3.42	3.31	3.37	3.37	3.50	注17	
防災・安全	防災	3.33	3.24	3.25	3.26	3.25	3.13	3.46	3.25	注18
	消防・救急	3.58	3.51	3.58	3.52	3.39	3.40	3.46	3.25	注18
	交通安全	3.36	3.21	3.16	3.16	3.07	3.16	3.18	3.15	
	防犯	3.21	3.16	3.13	3.10	3.05	3.07	2.93	2.86	
	消費生活	3.19	3.05	3.04	3.10	3.09	3.04	2.94	2.84	注19
市民協働・交流	市民協働・参加	3.16	3.07	3.10	3.10	3.15	3.10	3.16	3.12	注20
	地域コミュニティ	3.17	3.09	3.08	3.08	3.05	3.05	—	—	注21
	行財政経営	3.04	2.86	2.92	2.92	2.87	2.84	2.64	2.57	注22
	高度情報通信ネットワーク	3.05	3.03	3.05	3.10	3.02	3.01	3.16	3.09	注23
	地域間交流・国際交流	3.09	3.06	3.05	3.07	3.04	3.01	3.03	3.15	
	広域連携	3.23	3.19	3.17	3.24	3.07	3.04	—	—	

注：上位10項目が青

- 注1：平成22年は「学校教育・幼児教育」と聞いた
- 注2：平成20年は「差別のない社会」と聞いた
- 注3：平成22年は「市街地・住宅地」、平成24年・26年・28年は「住宅・宅地」と聞いた
- 注4：平成20年は「林業・水産業」と聞いた
- 注5：平成22年は「働く機会・働く環境」と聞いた
- 注6：平成22年は「健康づくり」と聞いた
- 注7：平成22年は「地域医療」と聞いた
- 注8：平成22年は「国民健康保険」と聞いた
- 注9：平成28年は「福祉のまちづくり」と聞いた
- 注10：平成22年は「高齢者の福祉」、平成24年・26年・28年は「高齢者福祉・介護保険」と聞いた
- 注11：平成22年は「一人親家庭・低所得者の福祉」、平成24年は「母子父子福祉」、平成26年と28年は「母子父子福祉・低所得者福祉」と聞いた
- 注12：平成24年・26年・28年は「母子保健」と聞いた
- 注13：平成22年は「子育て支援」と聞いた
- 注14：平成20年は「自然環境・生活環境」と聞いた
- 注15：平成22年は「街並み・景観」と聞いた
- 注16：平成22年は「ごみ・リサイクル」と聞いた
- 注17：平成20年は「上水道、下水道」と聞いた
- 注18：平成22年は「防災・消防」と聞いた
- 注19：平成22年は「消費者生活」と聞いた
- 注20：平成20年・22年・24年・26年・28年は「協働のまちづくり」と聞いた
- 注21：平成24年・26年・28年は「コミュニティの育成」と聞いた
- 注22：平成20年・22年・24年・26年・28年は「行財政」と聞いた
- 注23：平成22年は「情報化」と聞いた

(10) 施策別重要度の得点推移

令和元年と比較して、多くの施策で重要度が上昇した。

調査の都度、上位に入ることが多い施策は「幼児教育」「学校教育」「就労・雇用」「医療」「医療保険・国民年金」「介護・高齢者福祉」「環境衛生」「消防・救急」となっている。満足度と比較すると福祉の重要度が比較的高くなっている。

施策分野	施策	令和2年	令和元年	平成30年	平成28年	平成26年	平成24年	平成22年	平成20年	備考
教育・文化	幼児教育	4.44	4.29	4.25	4.30	4.23	4.25	4.48	4.55	注1
	学校教育	4.50	4.43	4.41	4.39	4.34	4.39	4.48	4.55	注1
	高校教育・高等教育	4.35	4.25	4.29	4.32	4.22	4.25	—	—	
	青少年健全育成	4.03	3.91	4.03	4.02	3.95	4.08	4.26	4.42	
	文化・芸術	3.83	3.75	3.82	3.80	3.91	3.75	3.56	3.93	
	生涯学習	3.88	3.74	3.78	3.89	3.78	3.77	3.78	4.01	
	スポーツ	3.85	3.80	3.78	3.89	3.78	3.76	3.85	3.90	
	人権尊重社会 男女共同参画社会	3.79 3.94	3.61 3.82	3.75 3.83	3.83 4.02	3.80 4.05	3.69 3.91	3.76 3.94	3.97 —	注2
都市基盤・土地利用	土地利用	3.89	3.91	3.92	3.87	3.87	3.80	—	—	
	市街地	4.06	4.01	3.93	4.06	4.08	3.80	3.82	3.88	注3
	公共施設	3.81	3.72	3.64	3.71	3.74	3.69	—	—	
	住宅	4.01	3.94	3.96	3.94	3.88	3.79	3.82	3.88	注3
	高速交通ネットワーク 地域交通ネットワーク	4.18 4.25	4.20 4.20	4.06 4.10	4.18 4.17	4.19 4.18	4.00 4.00	4.09 4.22	4.27 4.27	
経済・産業	農業	4.04	4.03	4.06	4.09	4.15	4.00	4.40	4.42	
	林業	3.85	3.77	3.75	3.89	3.87	3.77	4.16	3.97	注4
	水産業	3.51	3.49	3.44	3.55	3.61	3.47	3.59	3.97	注4
	商業・サービス業	4.05	3.93	3.94	4.01	4.02	3.86	4.15	4.19	
	観光	4.08	4.01	4.03	4.04	4.09	3.88	3.98	3.95	
	工業	3.99	3.91	3.98	4.06	4.09	4.02	4.18	4.14	
	就労・雇用	4.45	4.31	4.42	4.42	4.39	4.38	4.64	4.57	注5
保健・医療・福祉	健康増進	4.23	4.12	4.12	4.03	3.97	3.88	4.00	4.25	注6
	保健活動	4.32	4.14	4.14	4.15	4.16	3.95	—	—	
	医療	4.61	4.56	4.54	4.44	4.31	4.27	4.57	4.74	注7
	医療保険・国民年金	4.35	4.38	4.28	4.36	4.28	4.24	4.32	4.49	注8
	地域福祉	3.94	3.87	3.81	4.30	4.28	4.16	4.18	4.35	注9
	介護・高齢者福祉	4.42	4.40	4.40	4.43	4.40	4.29	4.52	4.59	注10
	障がい者福祉	4.23	4.17	4.15	4.24	4.20	4.14	4.36	4.33	
	ひとり親家庭支援・低所得者福祉	4.18	4.04	4.03	4.10	4.01	3.90	4.15	4.18	注11
	少子化対策・母子保健 子育て支援・児童福祉	4.33 4.40	4.17 4.33	4.24 4.34	4.08 4.29	4.04 4.18	4.04 4.10	4.07 4.21	— 4.32	注12 注13
環境	環境保全	4.05	4.11	4.09	3.82	4.03	4.07	4.31	4.51	注14
	街並み緑化・公園・景観形成	3.94	3.95	3.88	3.89	3.93	3.91	4.05	4.12	注15
	地球温暖化対策	4.16	4.02	4.03	—	—	—	—	—	
	環境衛生	4.39	4.36	4.24	4.32	4.19	4.21	4.52	4.62	注16
	上水道 下水道	4.31 4.30	4.27 4.20	4.19 4.14	4.20 4.16	4.15 4.12	4.27 4.15	4.36 4.34	4.36 4.36	注17 注17
防災・安全	防災	4.48	4.23	4.21	4.21	4.26	4.14	4.44	4.46	注18
	消防・救急	4.41	4.32	4.29	4.24	4.25	4.21	4.44	4.46	注18
	交通安全	4.33	4.26	4.21	4.24	4.17	4.09	4.31	4.29	
	防犯	4.32	4.25	4.21	4.22	4.18	4.10	4.38	4.43	
	消費生活	3.98	3.93	3.79	3.91	3.96	3.80	4.12	4.20	注19
市民協働・交流	市民協働・参加	3.57	3.53	3.50	3.50	3.69	3.65	3.79	3.89	注20
	地域コミュニティ	3.60	3.62	3.57	3.60	3.67	3.57	—	—	注21
	行財政経営	3.88	3.86	3.74	3.91	3.97	3.87	4.43	4.55	注22
	高度情報通信ネットワーク	3.91	3.82	3.71	3.83	3.79	3.74	3.84	3.68	注23
	地域間交流・国際交流	3.69	3.68	3.62	3.79	3.84	3.51	3.55	3.90	
	広域連携	3.80	3.82	3.67	3.75	3.78	3.56	—	—	

注：上位10項目が青

- 注1：平成22年は「学校教育・幼児教育」と聞いた
- 注2：平成20年は「差別のない社会」と聞いた
- 注3：平成22年は「市街地・住宅地」、平成24年・26年・28年は「住宅・宅地」と聞いた
- 注4：平成20年は「林業・水産業」と聞いた
- 注5：平成22年は「働く機会・働く環境」と聞いた
- 注6：平成22年は「健康づくり」と聞いた
- 注7：平成22年は「地域医療」と聞いた
- 注8：平成22年は「国民健康保険」と聞いた
- 注9：平成28年は「福祉のまちづくり」と聞いた
- 注10：平成22年は「高齢者の福祉」、平成24年・26年・28年は「高齢者福祉・介護保険」と聞いた
- 注11：平成22年は「一人親家庭・低所得者の福祉」、平成24年は「母子父子福祉」、平成26年と28年は「母子父子福祉・低所得者福祉」と聞いた
- 注12：平成24年・26年・28年は「母子保健」と聞いた
- 注13：平成22年は「子育て支援」と聞いた
- 注14：平成20年は「自然環境・生活環境」と聞いた
- 注15：平成22年は「街並み・景観」と聞いた
- 注16：平成22年は「ごみ・リサイクル」と聞いた
- 注17：平成20年は「上水道、下水道」と聞いた
- 注18：平成22年は「防災・消防」と聞いた
- 注19：平成22年は「消費者生活」と聞いた
- 注20：平成20年・22年・24年・26年・28年は「協働のまちづくり」と聞いた
- 注21：平成24年・26年・28年は「コミュニティの育成」と聞いた
- 注22：平成20年・22年・24年・26年・28年は「行財政」と聞いた
- 注23：平成22年は「情報化」と聞いた

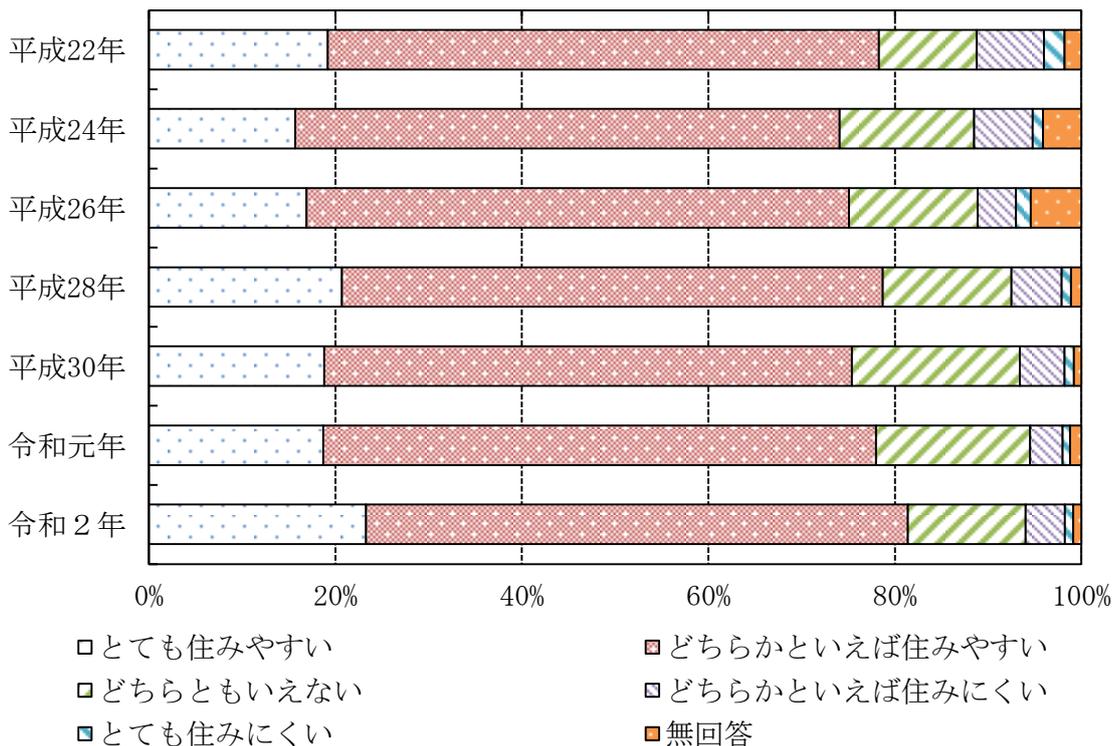
2. 「快適健康都市」の構築に向けて

(1) 佐久市の住みやすさ

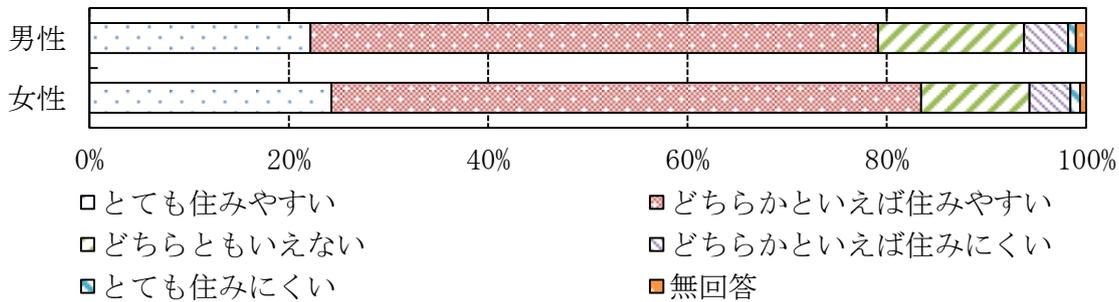
「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせると、81.4%とこれまでの調査と比較し最も高く、「とても住みやすい」も 23.3%と最も高くなっている。一方、「どちらかといえば住みにくい」「とても住みにくい」を合わせると 5.1%となり、これまでの調査の中で2番目に低くなっている。

佐久市民の多くが、住みやすいと感じている。

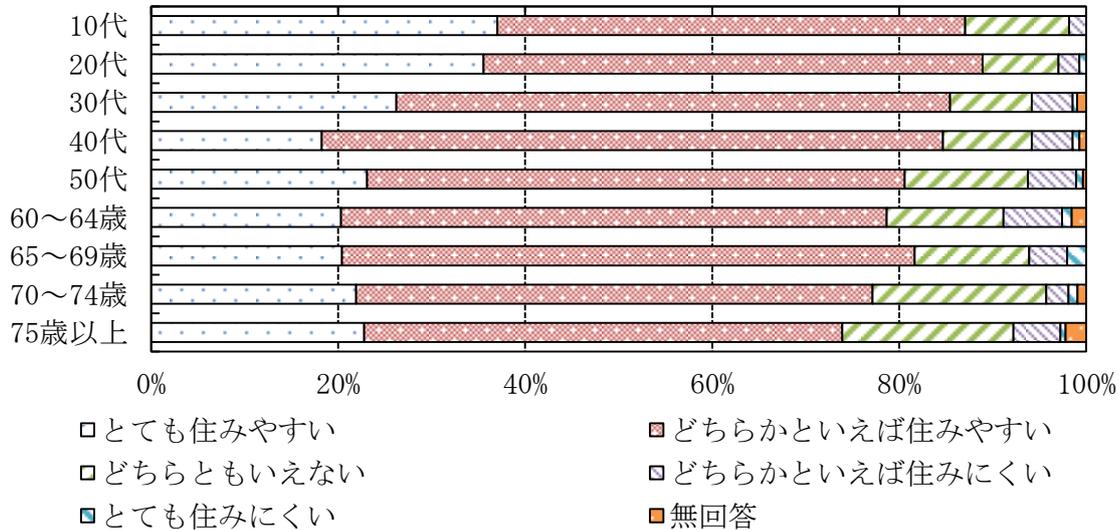
	とても 住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらとも いえない	どちらかといえば 住みにくい	とても 住みにくい	無回答
平成22年	19.2%	59.1%	10.5%	7.2%	2.2%	1.8%
平成24年	15.7%	58.4%	14.4%	6.3%	1.1%	4.1%
平成26年	16.9%	58.2%	13.8%	4.1%	1.6%	5.4%
平成28年	20.7%	58.0%	13.8%	5.4%	1.0%	1.1%
平成30年	18.8%	56.6%	18.0%	4.8%	1.0%	0.8%
令和元年	18.7%	59.3%	16.5%	3.5%	0.8%	1.2%
令和2年	23.3%	58.1%	12.6%	4.2%	0.9%	0.9%



	とても 住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらとも いえない	どちらかといえば 住みにくい	とても 住みにくい	無回答
男性	22.2%	56.9%	14.7%	4.4%	0.8%	1.0%
女性	24.3%	59.2%	10.9%	4.1%	0.9%	0.6%



	とても 住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらとも いえない	どちらかといえば 住みにくい	とても 住みにくい	無回答
10代	37.0%	50.0%	11.1%	1.9%	0.0%	0.0%
20代	35.6%	53.3%	8.1%	2.2%	0.7%	0.0%
30代	26.2%	59.2%	8.7%	4.4%	0.5%	1.0%
40代	18.2%	66.4%	9.5%	4.4%	0.7%	0.7%
50代	23.1%	57.5%	13.2%	5.1%	0.7%	0.4%
60～64歳	20.3%	58.3%	12.5%	6.3%	1.0%	1.6%
65～69歳	20.4%	61.2%	12.2%	4.1%	2.0%	0.0%
70～74歳	21.9%	55.2%	18.6%	2.4%	1.0%	1.0%
75歳以上	22.8%	51.1%	18.3%	5.0%	0.6%	2.2%

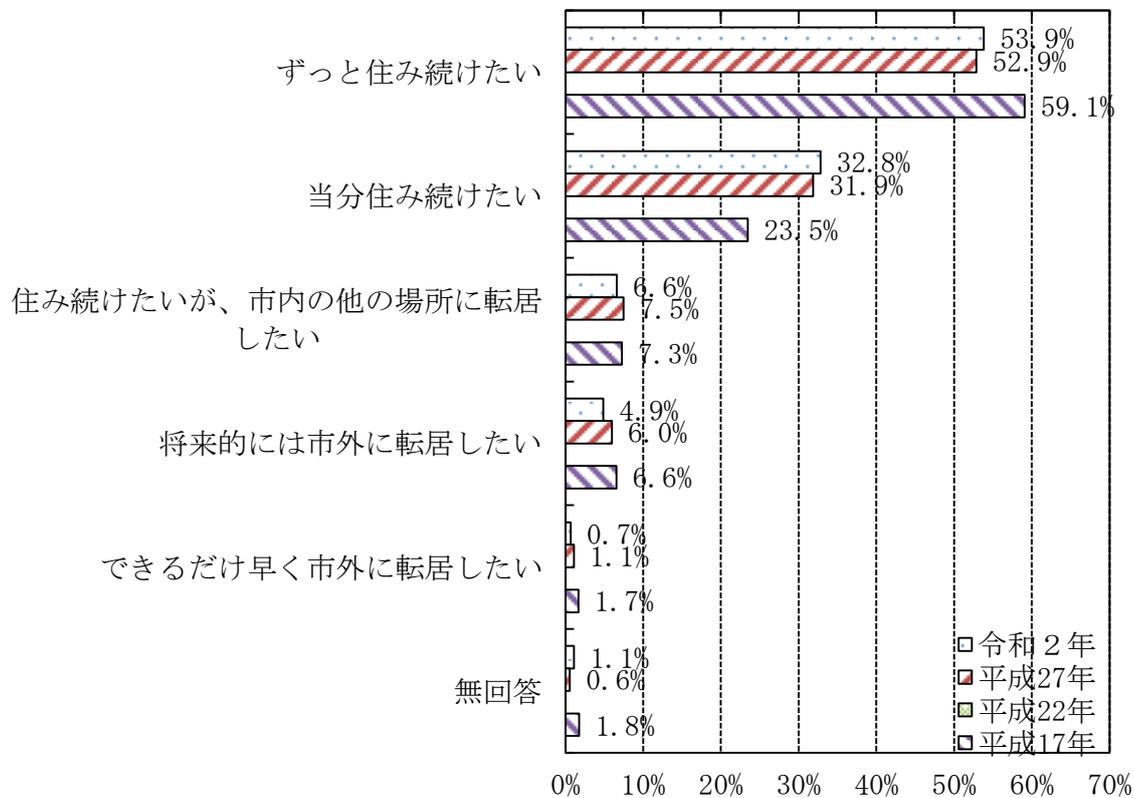
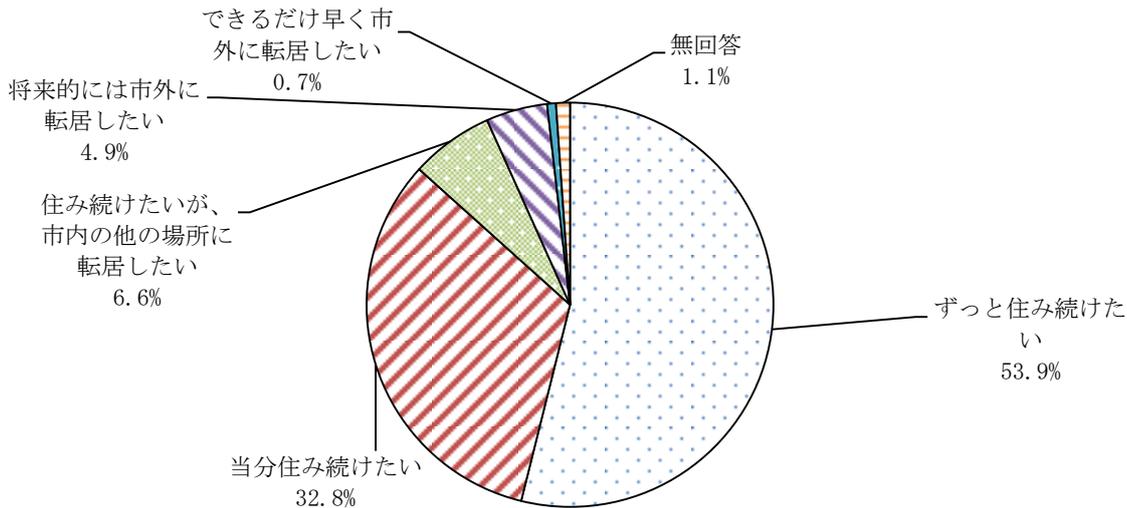


(2) 佐久市への今後の居住意向

ア. 居住意向

「ずっと住みたい」「当分住みたい」「住みたいが、市内の他の場所に転居したい」を合わせると、93.3%となり、市民のほとんどが佐久市に住みたいと考えている。

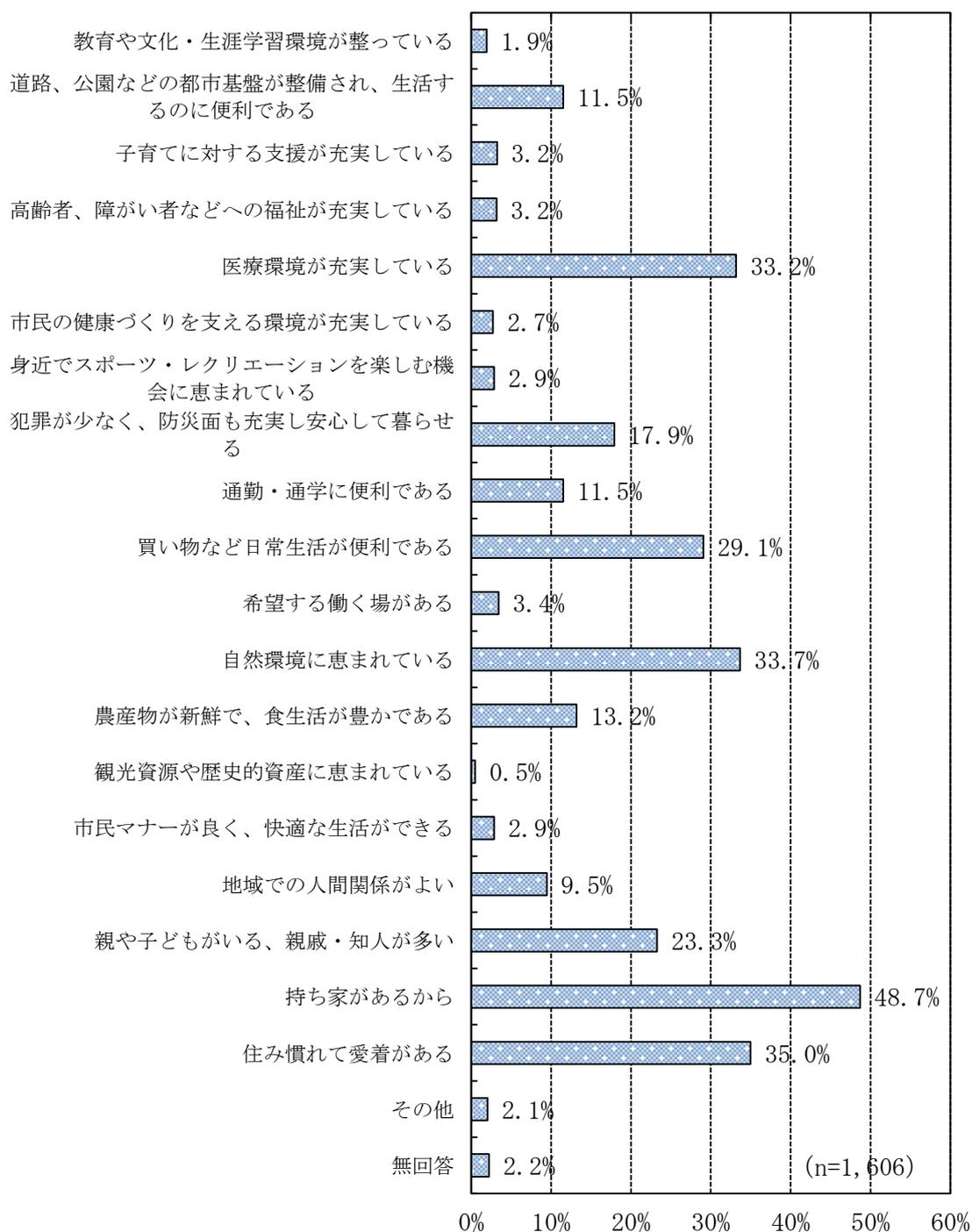
住みやすさとともに高いことから、佐久市への定住意向は高いと考えられる。



<空白ページ>

イ. 居住したい理由

「持ち家があるから」が48.7%と最も高く、次いで、「住み慣れて愛着がある」35.0%、「自然環境に恵まれている」33.7%、「医療環境が充実している」33.2%、「買い物など日常生活が便利である」29.1%と続く。地元であること、自然、医療、買い物に利便性を感じ居住したいと考えることが多いことがわかる。一方、教育、福祉、観光は低い。

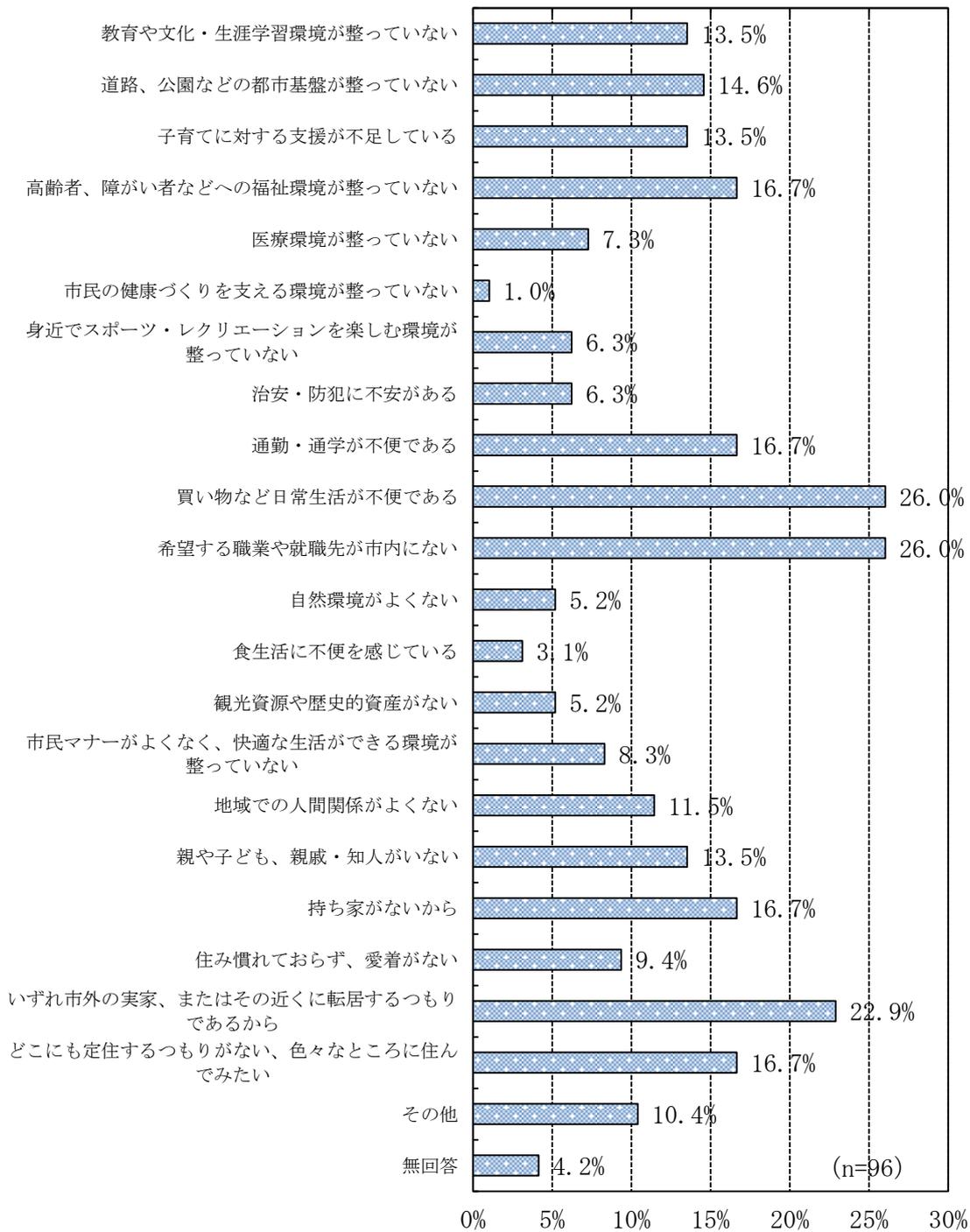


【その他】

- 山がキレイ（男性／20代／中込地区）
- お互いの実家（上田市、群馬県）と調度良い路線（男性／30代／浅間地区）
- 転勤してきたから（男性／30代／浅間地区）
- 仕事場がある（男性／40代／浅間地区）
- ほぼ全て当てはまる（男性／40代／中込地区）
- 資産（家など）があるため転居しにくい（男性／40代／東地区）
- 職場があるから（男性／50代／浅科地区）
- 災害が少ない（男性／50代／野沢地区）
- もっと良い地があってもお金がない（男性／60～64歳／中込地区）
- ふるさとだから（男性／65～69歳／浅科地区）
- 生まれた地で生涯を終えるから（男性／65～69歳／東地区）
- 生まれた所だから（男性／70～74歳／東地区）
- ハザードマップを見ると他の場所に移りたい（男性／70～74歳／野沢地区）
- 先が短いので18.19のみの考えでいる（男性／75歳以上／中込地区）
- 学校に通いやすい（女性／10代／東地区）
- 佐久市という町を考えて、魅力を感じているから。（女性／10代／野沢地区）
- 全部です！佐久は本当に良いところです。災害がないところすごく良いですよ（女性／20代／白田地区）
- どれだけ辛くても心が休まる、休める環境が自然と備わっているから。もし、自分が死なずに恋人ができて、結婚して、子供を産むことができたなら、ここで育てたいから。（女性／20代／浅科地区）
- 東京へのアクセスが良い（現在はコロナのためあまり利用しませんが…）（女性／20代／浅間地区）
- 可もなく不可もない街だから。（女性／30代／浅間地区）
- 実家との距離が近く、家族に会いに行きやすい。（女性／30代／浅間地区）
- 特にここに住むメリットは他県他市とそんなに変わらないから（女性／40代／中込地区）
- 東京へのアクセスが良い。（女性／50代／浅間地区）
- 現在賃貸アパート住まいのため（女性／50代／野沢地区）
- 災害が少ない（女性／60～64歳／浅科地区）
- 他の市や町に住んだ事がなくわからない（女性／60～64歳／東地区）
- 介護中（女性／60～64歳／望月地区）
- 空気、水がおいしく、自然の中の発見に感動するチャンスがある。自然災害の心配が少ない地域に住んでいること。（女性／70～74歳／中込地区）
- 近所で、悪口や作り話をする人がいて許せない。住みにくい。（女性／75歳以上／白田地区）

ウ. 居住したくない理由

「買い物など日常生活が不便である」「希望する職業や就職先が市内にない」が26.0%と最も高く、次いで「いずれ市外の実家、またはその近くに転居するつもりであるから」22.9%と続く。満足度においても「雇用・就職」が低いことから人口増、定住には雇用環境が重要であると考えられる。



【その他】

- 既に市外に持ち家があるが転勤のため佐久市に住んでいるから（男性／40代／臼田地区）
- 都会出身者から見てあまりにも魅力がなさすぎる（男性／40代／浅間地区）
- 空き家対策、老後の生活を新たな日常で過ごすには、所有する物は何も無い事が良い（男性／50代／臼田地区）
- 自ら高齢者の為（男性／70～74歳／臼田地区）
- 進学のため（女性／10代／浅間地区）
- 今は営業してないのに店自体はそのままある店がとて多いと感じる（女性／10代／野沢地区）
- 結婚で市外に出ざるをえない（女性／20代／臼田地区）
- ごみの分別から解放されたい（女性／20代／野沢地区）
- 寒さになれず、雪のある生活を今までしてきた事がないため。（女性／30代／浅間地区）
- 寒い（女性／40代／東地区）

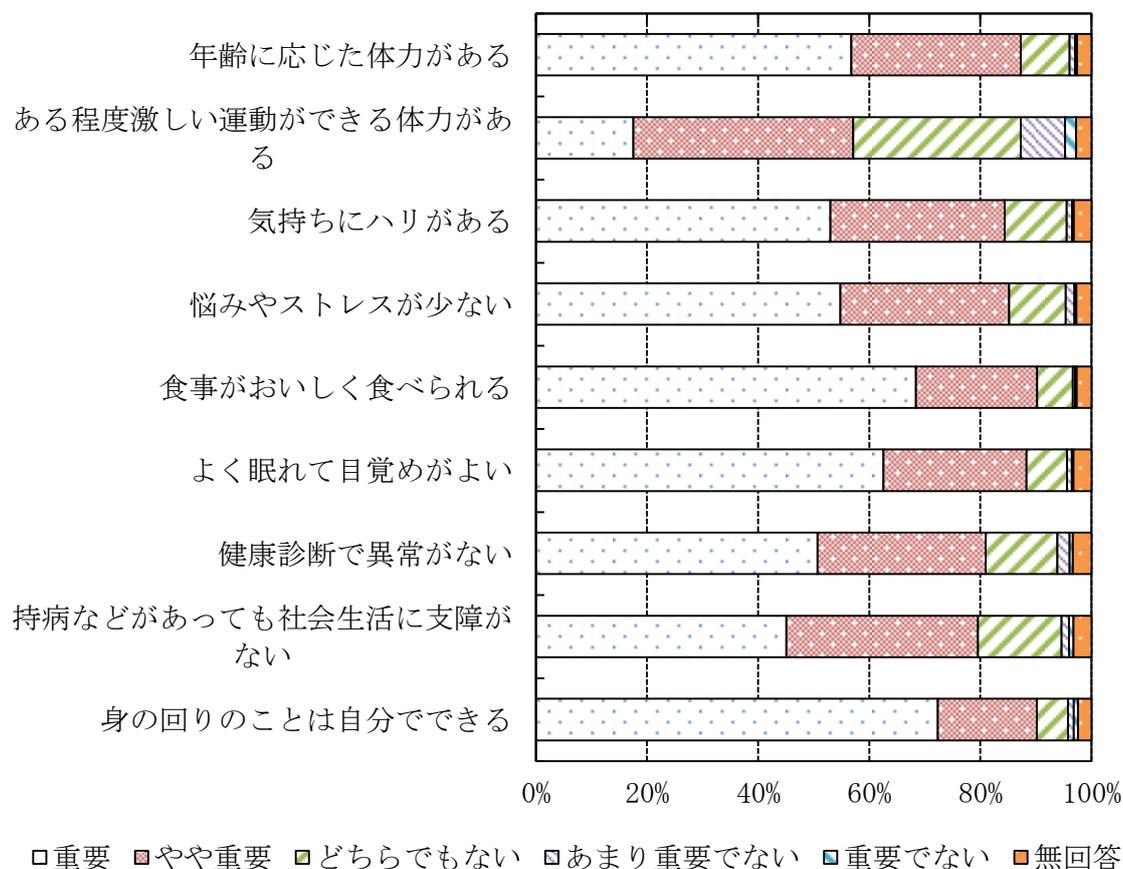
3. 市民の健康感

(1) 健康上重要だと思うこと

ア. 重要だと思うこと (令和2年調査)

「重要」「やや重要」を合わせると、「ある程度激しい運動ができる体力がある」57.1%を除いたすべての項目で80%程度以上となっている。日常生活が自分ででき、心身ともに不具合がないことが重要と考えられている。

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
年齢に応じた体力がある	56.8%	30.5%	8.8%	1.0%	0.3%	2.6%
ある程度激しい運動ができる体力がある	17.5%	39.6%	30.2%	8.0%	1.9%	2.8%
気持ちにハリがある	53.0%	31.4%	11.2%	0.9%	0.3%	3.2%
悩みやストレスが少ない	54.8%	30.4%	10.2%	1.5%	0.3%	2.7%
食事がおいしく食べられる	68.4%	21.8%	6.4%	0.4%	0.3%	2.7%
よく眠れて目覚めがよい	62.6%	25.7%	7.3%	0.8%	0.3%	3.3%
健康診断で異常がない	50.7%	30.3%	12.9%	2.1%	0.6%	3.4%
持病などがあっても社会生活に支障がない	45.1%	34.5%	15.0%	1.3%	0.8%	3.3%
身の回りのことは自分でできる	72.3%	17.8%	5.6%	1.0%	0.8%	2.4%



【その他重要だと思うこと】

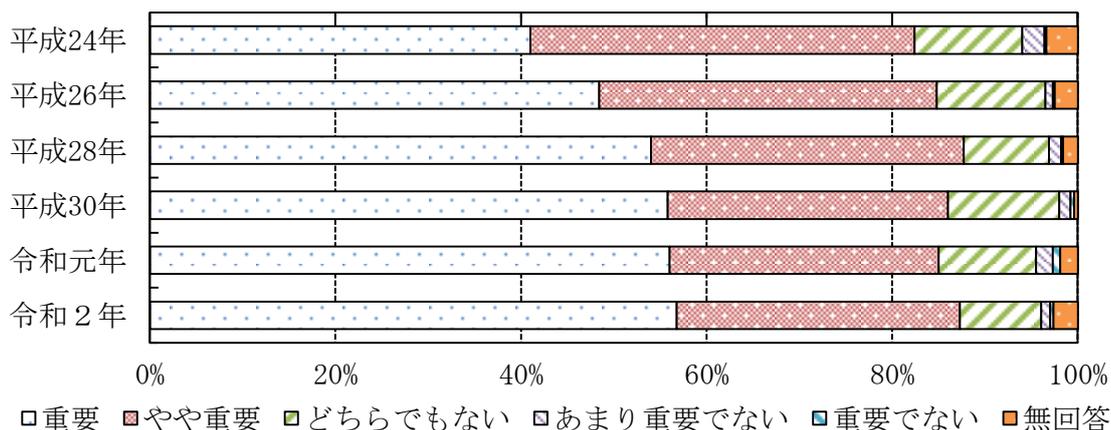
- 学業や、仕事などで精神的追い込まれていない。(男性/10代/臼田地区)
- 病気になった時(夜間問わず)に安心して医療サービスを受けることができる。(男性/20代/望月地区)
- 変化を楽しめる人間になること(男性/20代/望月地区)
- 何気ない1日を過ごせる人は、実は幸せ。当たり前を当たり前でそれが健康である。当たり前のことができない人もいるので。学業、仕事、家事、ボランティア。全ては健康から。カラダづくりに関して発信がもっとあれば良い。(男性/20代/野沢地区)
- 年をとっても、佐久市で笑って過ごしたいと思える気持ち(男性/20代/野沢地区)
- 人間関係が良好であるか(男性/30代/浅間地区)
- しっかりとした意思を持ち負けない気持ち(男性/30代/浅間地区)
- 趣味を持ち継続していける環境があること(男性/30代/中込地区)
- 職場、地域での人間関係(男性/30代/望月地区)
- 欲が出ること筋肉、体格、表情豊かさ、明るさ(男性/30代/無回答)
- 夜間の高速道路からの騒音、振動低減(男性/30代/野沢地区)
- 家族間以外での人間関係の充実(男性/40代/浅科地区)
- 禁煙率を上げる(男性/40代/浅間地区)
- 各人に応じた運動が出来る場所がほしい(男性/40代/東地区)
- 1人で生活できる事(男性/40代/野沢地区)
- 心身ともに健康(男性/40代/野沢地区)
- 友人との外出、遊び(男性/50代/臼田地区)
- 幸福感がある(男性/50代/浅科地区)
- 健康と考えられる自信が常にあること(条件など不要で…)(男性/50代/中込地区)
- 車の運転が安全にできる(男性/50代/野沢地区)
- ⑩いつも健康なのか確認できる施設がある(人間ドック、情報ネットなど)(男性/50代/野沢地区)
- ⑩痛い所がない(男性/60~64歳/浅科地区)
- 打ちこめることがあること(男性/60~64歳/浅間地区)
- 仕事や役割など生きがいを持っていること(男性/60~64歳/浅間地区)
- 健康を支えてくれる医療環境(病院等)(男性/60~64歳/中込地区)
- 健康と気持ちを若く持つ事(男性/65~69歳/臼田地区)
- 社会活動への参加、貢献に生きがいを持つこと(男性/65~69歳/中込地区)
- 四季折々の自然・食べもの・おいしい空気に恵まれている(男性/65~69歳/東地区)
- 趣味のスポーツがある(男性/65~69歳/東地区)
- 農業や趣味など自分の能力、特技を發揮できる場がある。(男性/65~69歳/望月地区)
- 心も体も健康でない(男性/65~69歳/野沢地区)
- 他人と関りが有る(男性/70~74歳/野沢地区)
- 今日の活動を思い出し明日の活動を計画する(男性/75歳以上/臼田地区)
- 特にありません(男性/75歳以上/浅間地区)

- 細かい事が思い通りにならない（男性／75歳以上／浅間地区）
- 日常の生活で活力を持てる事が重要と思う（男性／75歳以上／野沢地区）
- 健康でない状態を想像して自己管理の意識に注力する（男性／75歳以上／野沢地区）
- 笑いあえる友達がいること（女性／10代／野沢地区）
- 悩みを相談できる場があること（女性／10代／野沢地区）
- 心が壊れた時その人が生きていける環境があるかどうか。「助けて」と正直に言える町づくりや健康感を1人でも多くの方に理解し対策して行って下さい。（女性／20代／浅科地区）
- 誰かに助けてもらいながら健康を維持できること（女性／20代／浅間地区）
- 相談できる場があること（女性／20代／浅間地区）
- 他人と関われる（女性／20代／浅間地区）
- 自分のことだけでなく周りに目を向けることの出来る余裕がある。心の余裕（女性／30代／中込地区）
- 疲れが解消できること（女性／30代／中込地区）
- 健康の3大要素。質の高い眠り、食事、適度な運動+コミュニケーションが取れる生活環境が絶対に必要です！（女性／30代／望月地区）
- 孤独を感じないこと（女性／40代／浅間地区）
- 愚痴が少ないこと。笑って色んな人と話せること。酒のトラブルが無い事。薬を飲みすぎない（サブリ含め）（女性／40代／浅間地区）
- 独居でも完全に地域や市から孤立していない事。何らかの生きがいを持ち、精神的にも健全である事。（女性／40代／中込地区）
- ガマンしない事じゃないですか？（女性／40代／中込地区）
- 薬に頼らない生活ができる（女性／40代／野沢地区）
- 老化をストップさせることが重要、その方法があります！世の中の人に行政が指導した方がいい。偽物の健康情報、いい加減流すのをやめたらどうですか！3食食べるとかいっぱい食べるとか減塩とか本当に国民の健康願っているのか！情報発進している国側の人々も健康を失っていますよ！（女性／50代／浅間地区）
- 食生活、塩分の取り過ぎ、軽い運動（年齢にあった）（女性／50代／浅間地区）
- いろいろな方とコミュニケーションをとる（女性／50代／浅間地区）
- 普段通りの生活ができることの有難さを感じる（女性／50代／東地区）
- どちらも無い（女性／50代／東地区）
- 話し相手（相談できる相手）がいること（女性／50代／望月地区）
- 衣食住が重要。ライフラインは必要。（女性／50代／野沢地区）
- 命を大切にしてください（女性／60～64歳／浅科地区）
- 悩みやストレスに対し即応力がある（女性／65～69歳／臼田地区）
- （質問外）重要度を問う質問に「どちらも無い」と「重要ではない」のちがひ、差は何か（女性／65～69歳／浅科地区）
- 歯も大事。心も大事。筋力、気力いろいろ大事。（女性／65～69歳／中込地区）

- 病院の通院、買い物、役所への用事など車がどうしても必要なので目（視力）、体力などが大事です。
（女性／65～69 歳／東地区）
- 近隣に友人・知人がいること。近所付き合いが良好であること。（女性／65～69 歳／野沢地区）
- いざという時、主治医がいる事（女性／70～74 歳／臼田地区）
- 糖尿病である（女性／70～74 歳／臼田地区）
- 家族（女性／70～74 歳／浅科地区）
- 自分の足で歩くことのできる大切さ（女性／70～74 歳／中込地区）
- 近所に親しい友人達がおおり、毎日散歩している事（女性／70～74 歳／中込地区）
- いつもニコニコ穏やかでいられる（女性／70～74 歳／中込地区）
- 友達との対話が重要（女性／70～74 歳／望月地区）
- 他人や家族の為になること（女性／75 歳以上／臼田地区）
- 自分の事は自分ででき、子供や近所の人に迷惑を掛けない生活（女性／75 歳以上／中込地区）
- 食べ物の摂取の仕方（女性／75 歳以上／中込地区）
- 緑内障治療以外異状ない（女性／75 歳以上／中込地区）
- 病院は本人が決めることだが外の病院は行った方がよいという人がいる（女性／75 歳以上／東地区）
- 年をとっても人の手を借りないで生活出来ることを望みます。（女性／75 歳以上／望月地区）

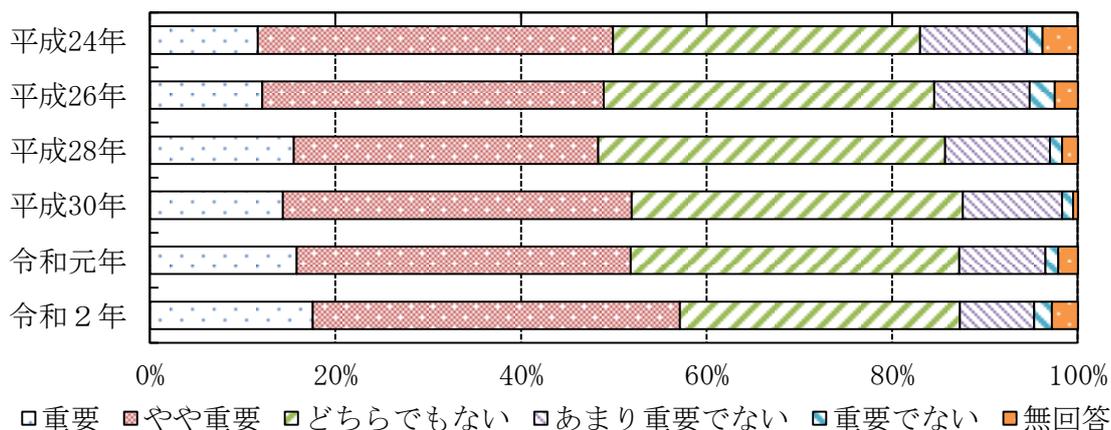
イ. 年齢に応じた体力がある

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	41.0%	41.4%	11.6%	2.4%	0.2%	3.4%
平成26年	48.4%	36.4%	11.7%	0.8%	0.2%	2.5%
平成28年	54.0%	33.7%	9.2%	1.3%	0.2%	1.6%
平成30年	55.8%	30.2%	12.0%	1.2%	0.4%	0.4%
令和元年	56.0%	29.0%	10.5%	1.8%	0.8%	1.9%
令和2年	56.8%	30.5%	8.8%	1.0%	0.3%	2.6%



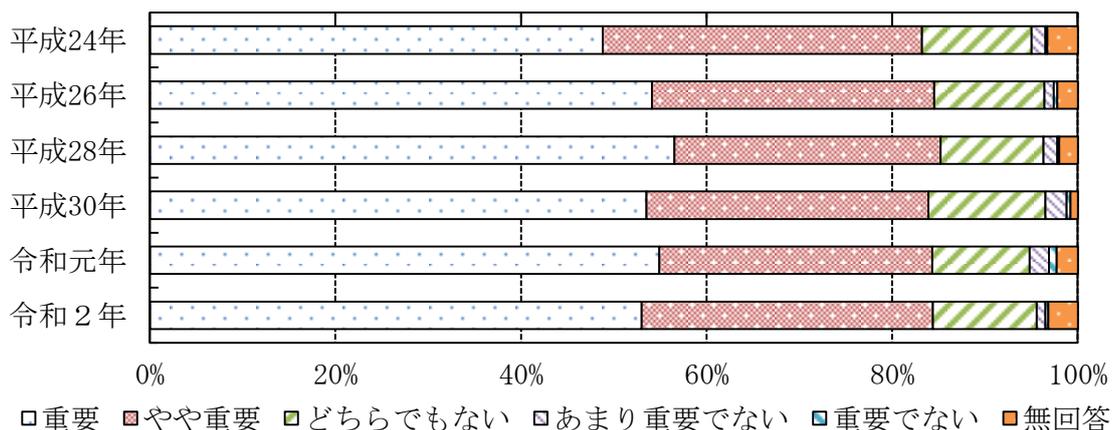
ウ. ある程度激しい運動ができる体力がある

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	11.6%	38.3%	33.1%	11.5%	1.7%	3.8%
平成26年	12.1%	36.8%	35.6%	10.3%	2.7%	2.5%
平成28年	15.5%	32.8%	37.4%	11.3%	1.3%	1.7%
平成30年	14.3%	37.6%	35.7%	10.7%	1.2%	0.5%
令和元年	15.8%	36.0%	35.4%	9.3%	1.4%	2.1%
令和2年	17.5%	39.6%	30.2%	8.0%	1.9%	2.8%



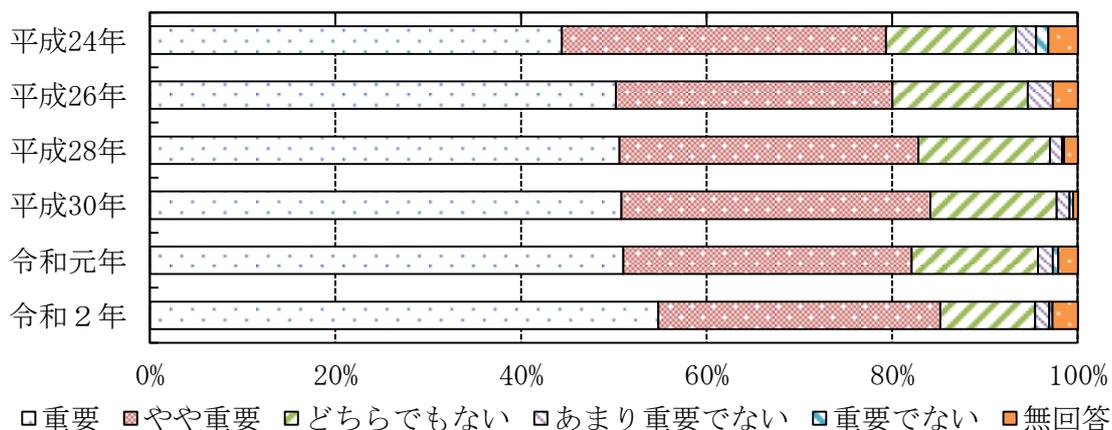
エ. 気持ちにハリがある

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	48.8%	34.4%	11.8%	1.5%	0.2%	3.3%
平成26年	54.1%	30.4%	11.9%	1.0%	0.4%	2.2%
平成28年	56.5%	28.7%	11.1%	1.5%	0.2%	2.0%
平成30年	53.5%	30.4%	12.6%	2.3%	0.4%	0.8%
令和元年	54.9%	29.4%	10.5%	2.1%	0.8%	2.3%
令和2年	53.0%	31.4%	11.2%	0.9%	0.3%	3.2%



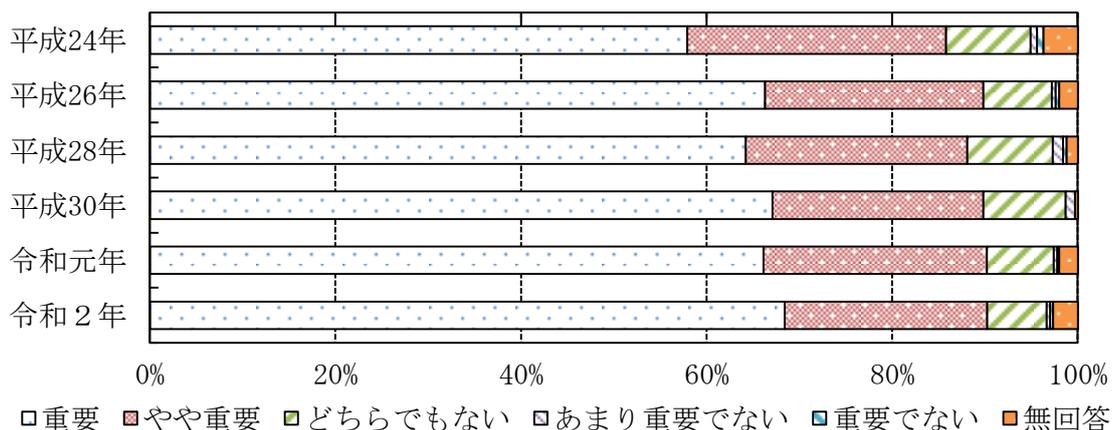
オ. 悩みやストレスが少ない

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	44.4%	34.9%	14.0%	2.2%	1.3%	3.2%
平成26年	50.2%	29.8%	14.6%	2.7%	0.0%	2.7%
平成28年	50.6%	32.2%	14.2%	1.3%	0.2%	1.5%
平成30年	50.8%	33.3%	13.6%	1.4%	0.4%	0.5%
令和元年	51.0%	31.1%	13.6%	1.6%	0.6%	2.1%
令和2年	54.8%	30.4%	10.2%	1.5%	0.3%	2.7%



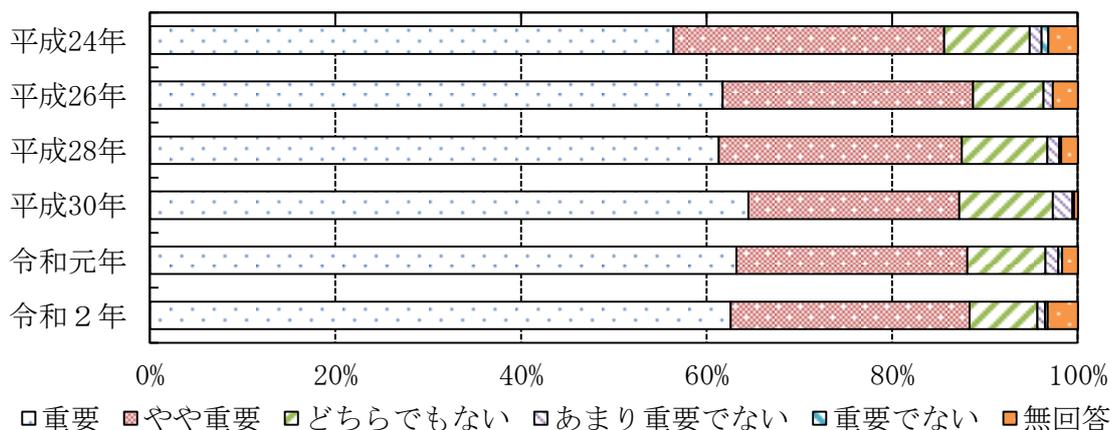
カ. 食事がおいしく食べられる

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	57.9%	27.9%	9.1%	0.7%	0.7%	3.7%
平成26年	66.3%	23.5%	7.4%	0.4%	0.4%	2.0%
平成28年	64.2%	23.9%	9.2%	1.1%	0.4%	1.2%
平成30年	67.1%	22.7%	8.9%	1.0%	0.0%	0.3%
令和元年	66.1%	24.1%	7.2%	0.4%	0.2%	2.0%
令和2年	68.4%	21.8%	6.4%	0.4%	0.3%	2.7%



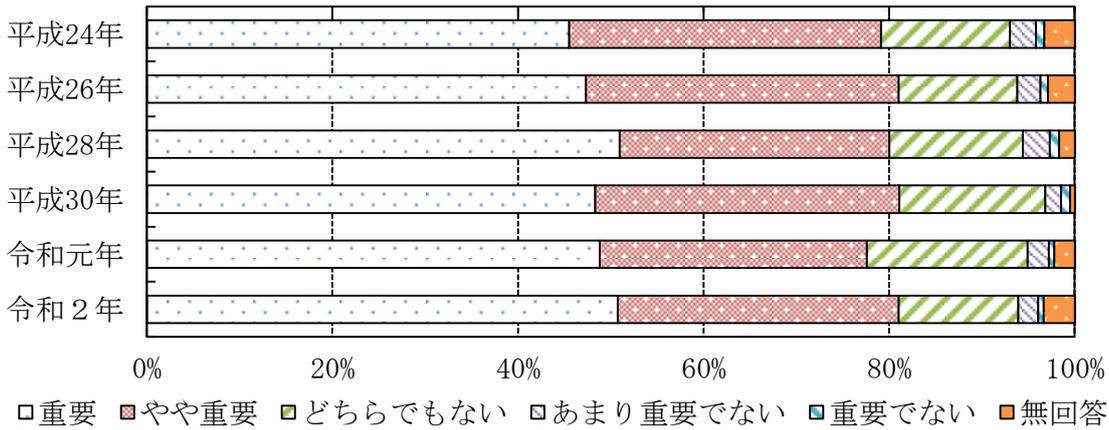
キ. よく眠れて目覚めがよい

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	56.4%	29.2%	9.2%	1.3%	0.7%	3.2%
平成26年	61.7%	27.0%	7.6%	1.0%	0.0%	2.7%
平成28年	61.3%	26.2%	9.2%	1.3%	0.2%	1.8%
平成30年	64.5%	22.7%	10.1%	2.1%	0.2%	0.4%
令和元年	63.2%	24.9%	8.4%	1.4%	0.4%	1.7%
令和2年	62.6%	25.7%	7.3%	0.8%	0.3%	3.3%



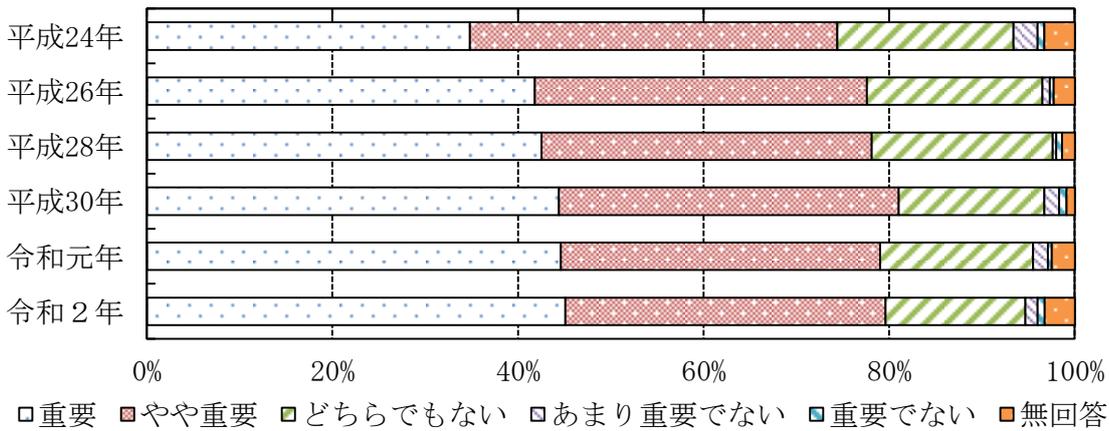
ク. 健康診断で異常がない

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	45.5%	33.6%	13.9%	2.8%	0.9%	3.3%
平成26年	47.3%	33.7%	12.8%	2.5%	0.8%	2.9%
平成28年	51.0%	29.1%	14.4%	2.9%	1.0%	1.7%
平成30年	48.3%	32.8%	15.7%	1.7%	1.0%	0.5%
令和元年	48.8%	28.8%	17.3%	2.3%	0.6%	2.2%
令和2年	50.7%	30.3%	12.9%	2.1%	0.6%	3.4%



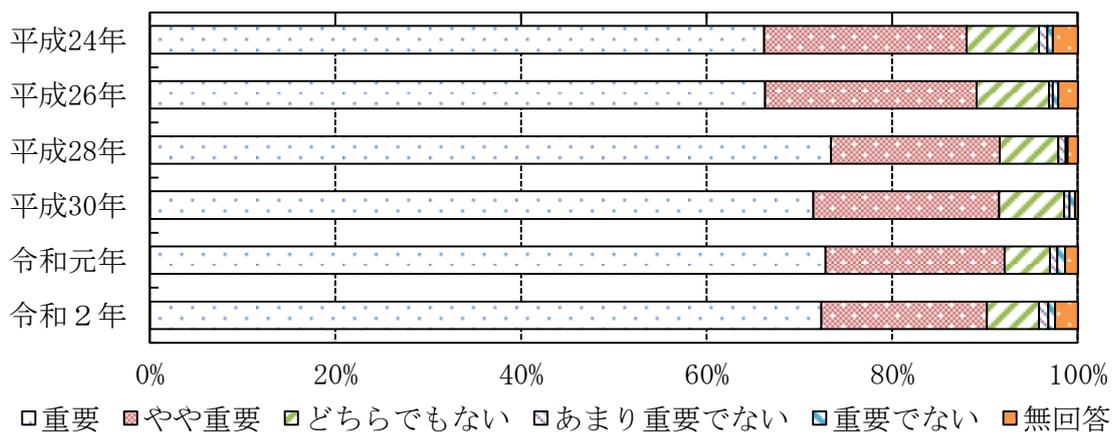
ケ. 持病などがあっても社会生活に支障がない

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	34.8%	39.6%	19.0%	2.6%	0.7%	3.3%
平成26年	41.8%	35.8%	18.9%	0.8%	0.4%	2.3%
平成28年	42.5%	35.6%	19.5%	0.4%	0.6%	1.4%
平成30年	44.4%	36.6%	15.7%	1.6%	0.8%	0.9%
令和元年	44.6%	34.4%	16.5%	1.6%	0.4%	2.5%
令和2年	45.1%	34.5%	15.0%	1.3%	0.8%	3.3%



コ. 身の回りのことは自分でできる

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	66.2%	21.8%	7.8%	0.9%	0.6%	2.7%
平成26年	66.3%	22.8%	7.8%	0.4%	0.6%	2.1%
平成28年	73.4%	18.2%	6.3%	0.8%	0.2%	1.1%
平成30年	71.5%	20.0%	7.0%	0.6%	0.6%	0.3%
令和元年	72.8%	19.3%	4.9%	0.8%	0.8%	1.4%
令和2年	72.3%	17.8%	5.6%	1.0%	0.8%	2.4%

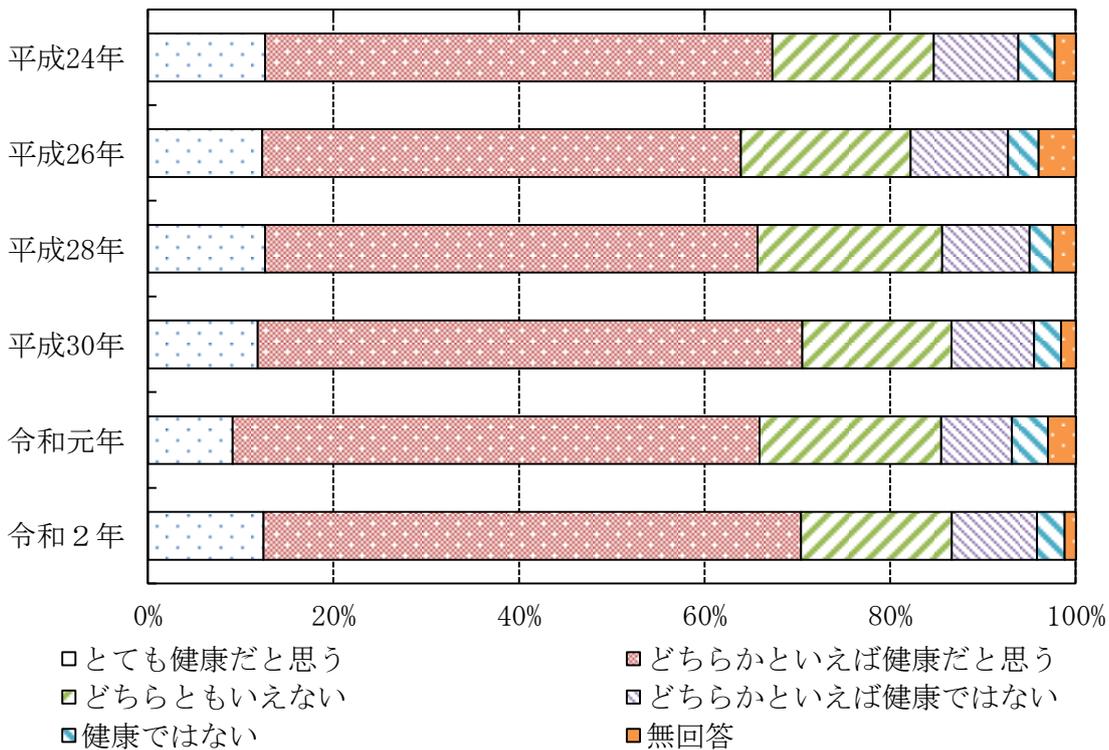


(2) 健康感

ア. 健康だと思うか

「とても健康だと思う」「どちらかといえば健康だと思う」を合わせると 70.4%となり、平成 30 年に次いで高い。一方、「どちらかといえば健康ではない」「健康ではない」を合わせると 12.1%となり、令和元年と比較し増加した。

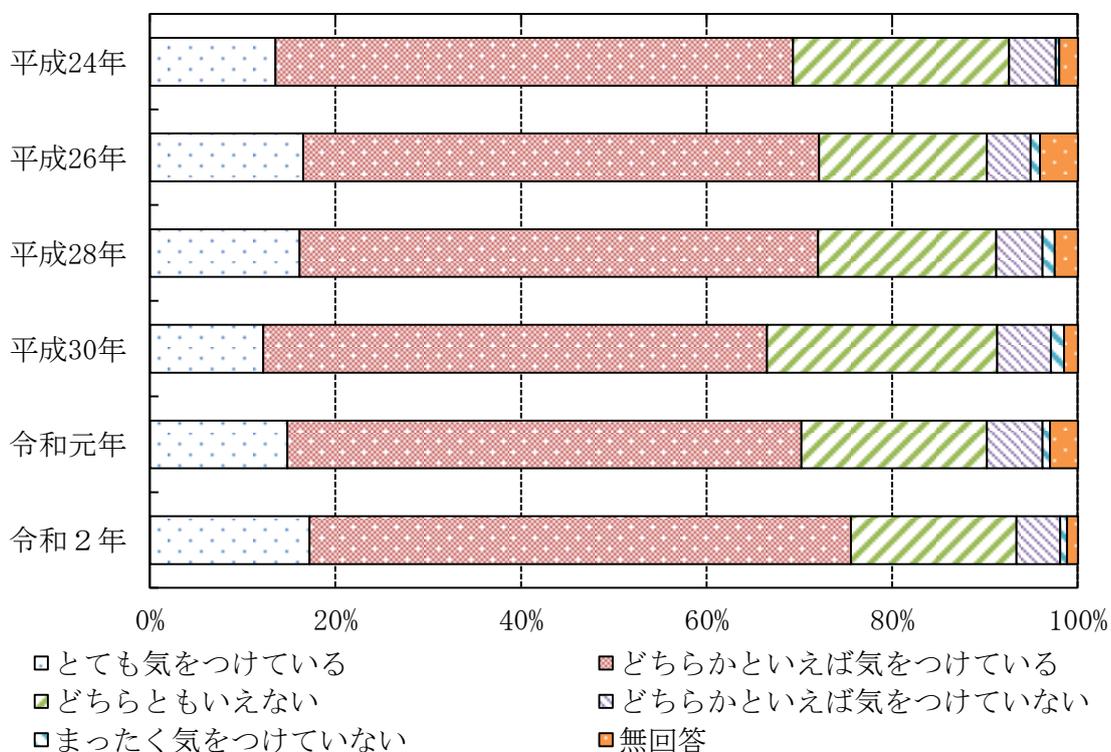
	とても健康 だと思う	どちらか といえば 健康だと思う	どちらとも いえない	どちらか といえば 健康ではない	健康 ではない	無回答
平成24年	12.6%	54.7%	17.4%	9.1%	3.9%	2.3%
平成26年	12.3%	51.6%	18.3%	10.5%	3.3%	4.0%
平成28年	12.6%	53.1%	19.9%	9.4%	2.5%	2.5%
平成30年	11.8%	58.7%	16.1%	8.9%	2.9%	1.6%
令和元年	9.1%	56.8%	19.6%	7.6%	3.9%	3.0%
令和2年	12.4%	57.9%	16.3%	9.2%	3.0%	1.2%



イ. 健康に気をつけているか

「とても気をつけている」「どちらかといえば気をつけている」を合わせると、75.5%となり、平成30年に減少して以降、増加を続け、平成24年以降で最も高くなった。市民の健康意識が高まっている。

	とても気をつけている	どちらかといえば気をつけている	どちらともいえない	どちらかといえば気をつけていない	まったく気をつけていない	無回答	合計
平成24年	13.5%	55.8%	23.3%	5.0%	0.4%	2.0%	100.0%
平成26年	16.5%	55.6%	18.1%	4.7%	1.0%	4.1%	100.0%
平成28年	16.1%	55.9%	19.2%	5.0%	1.3%	2.5%	100.0%
平成30年	12.2%	54.3%	24.8%	5.8%	1.4%	1.5%	100.0%
令和元年	14.8%	55.4%	20.0%	6.0%	0.8%	3.0%	100.0%
令和2年	17.2%	58.3%	17.8%	4.7%	0.8%	1.2%	100.0%

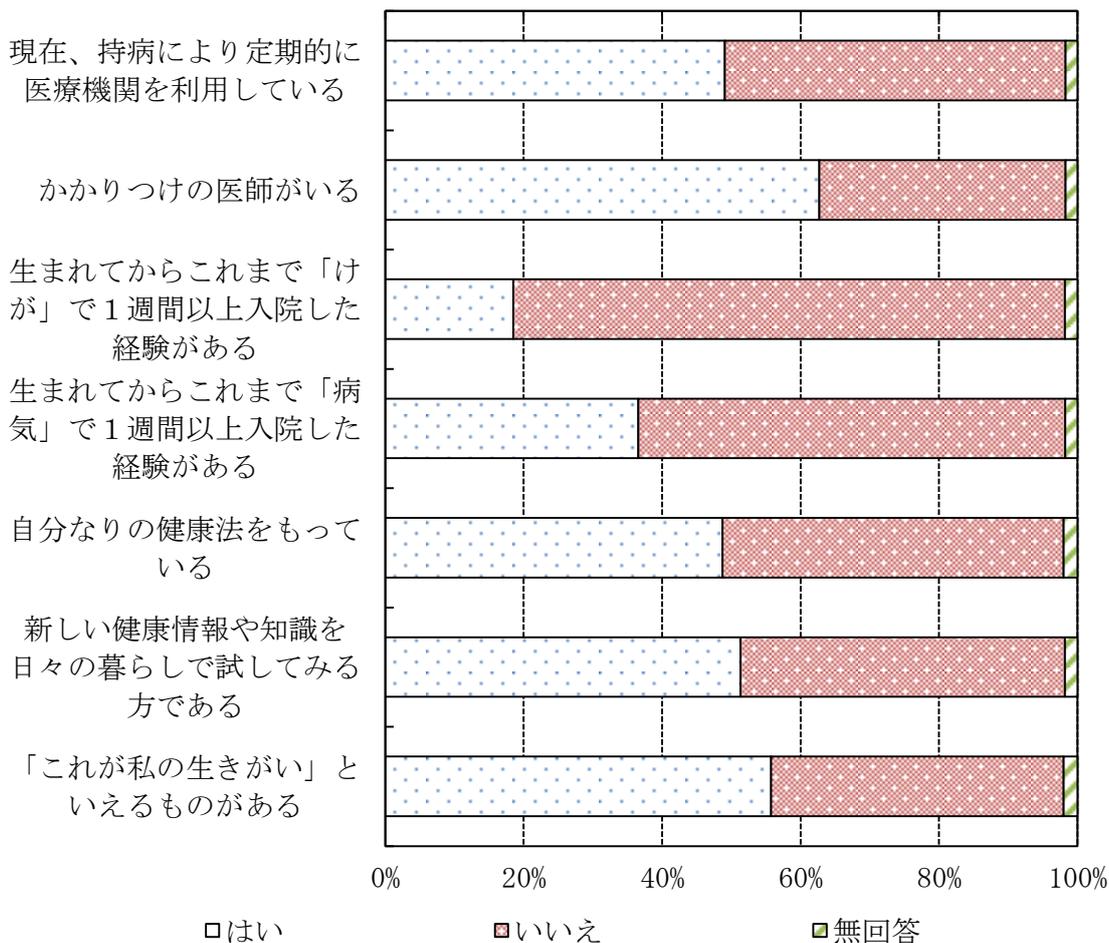


(3) 健康状態と意識

ア. 健康状態と意識（令和2年調査）

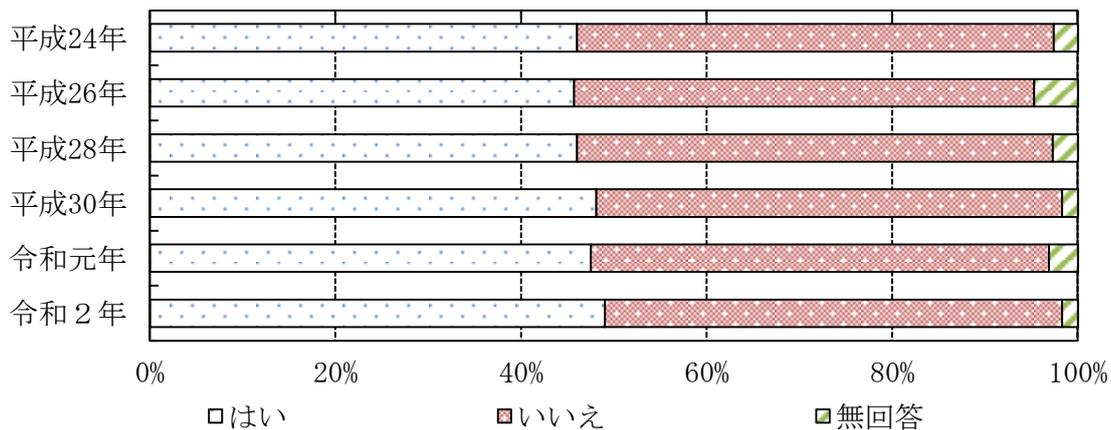
「現在、持病により定期的に医療機関を利用している」が49.0%となり、半数が持病のある状態である。また、「かかりつけの医師がいる」が62.7%となり、行きつけの医者を持つ市民も多い。「1週間以上入院した経験がある」は「けが」で18.5%、「病気」で36.5%となっている。健康に対する意識では、「自分なりの健康法を持っている」「新しい健康情報や知識を日々の暮らしで試してみる方である」が約半数となる。

	はい	いいえ	無回答
現在、持病により定期的に医療機関を利用している	49.0%	49.3%	1.7%
かかりつけの医師がいる	62.7%	35.6%	1.7%
生まれてからこれまで「けが」で1週間以上入院した経験がある	18.5%	79.7%	1.8%
生まれてからこれまで「病気」で1週間以上入院した経験がある	36.5%	61.7%	1.7%
自分なりの健康法を持っている	48.8%	49.3%	2.0%
新しい健康情報や知識を日々の暮らしで試してみる方である	51.3%	46.9%	1.8%
「これが私の生きがい」といえるものがある	55.7%	42.3%	2.0%



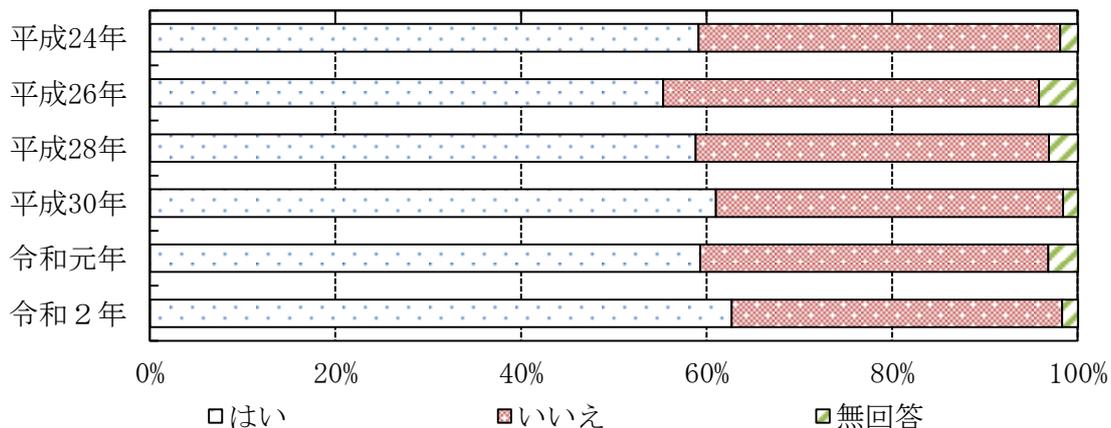
イ. 現在、持病により定期的に医療機関を利用している

	はい	いいえ	無回答
平成24年	46.0%	51.4%	2.6%
平成26年	45.7%	49.6%	4.7%
平成28年	46.0%	51.3%	2.7%
平成30年	48.1%	50.2%	1.7%
令和元年	47.5%	49.4%	3.1%
令和2年	49.0%	49.3%	1.7%



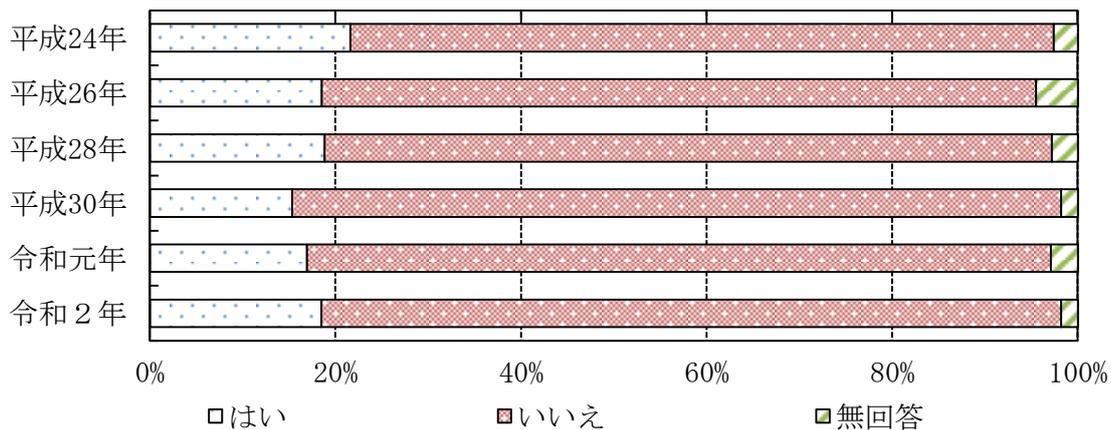
ウ. かかりつけの医師がいる

	はい	いいえ	無回答
平成24年	59.1%	39.0%	1.9%
平成26年	55.3%	40.5%	4.2%
平成28年	58.8%	38.1%	3.1%
平成30年	61.0%	37.4%	1.6%
令和元年	59.3%	37.5%	3.2%
令和2年	62.7%	35.6%	1.7%



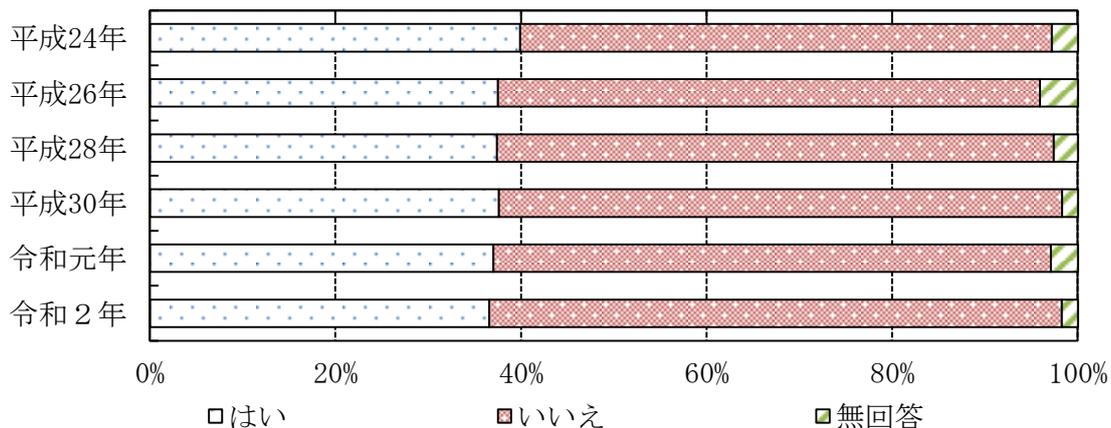
エ. 生まれてからこれまで「けが」で1週間以上入院した経験がある

	はい	いいえ	無回答
平成24年	21.6%	75.8%	2.6%
平成26年	18.5%	77.0%	4.5%
平成28年	18.8%	78.4%	2.8%
平成30年	15.3%	82.9%	1.8%
令和元年	16.9%	80.2%	2.9%
令和2年	18.5%	79.7%	1.8%



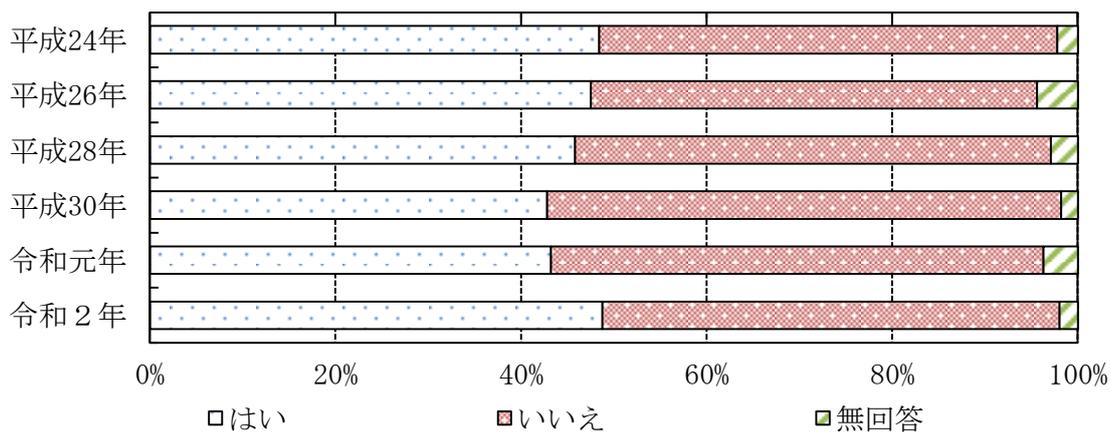
オ. 生まれてからこれまで「病気」で1週間以上入院した経験がある

	はい	いいえ	無回答
平成24年	39.9%	57.3%	2.8%
平成26年	37.5%	58.4%	4.1%
平成28年	37.4%	60.0%	2.6%
平成30年	37.6%	60.7%	1.7%
令和元年	37.0%	60.1%	2.9%
令和2年	36.5%	61.7%	1.7%



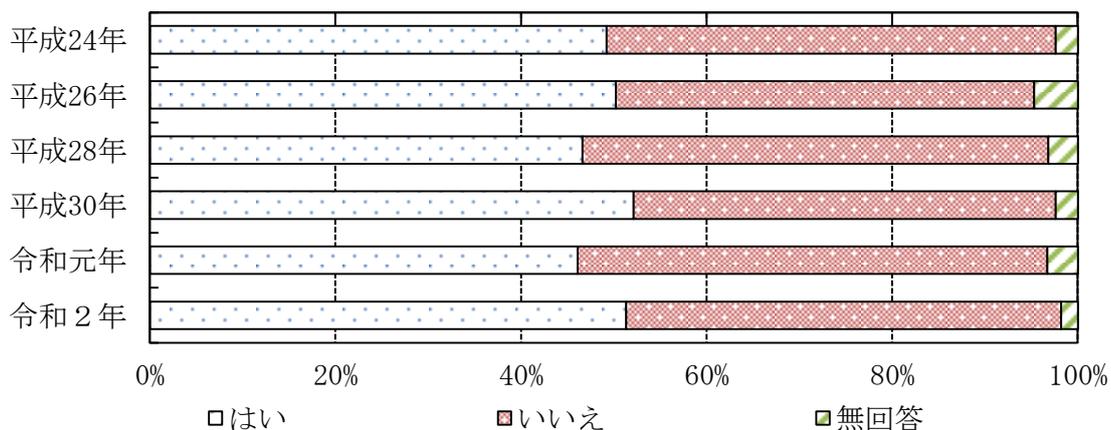
カ. 自分なりの健康法をもっている

	はい	いいえ	無回答
平成24年	48.4%	49.4%	2.2%
平成26年	47.5%	48.1%	4.4%
平成28年	45.8%	51.3%	2.9%
平成30年	42.8%	55.4%	1.8%
令和元年	43.2%	53.1%	3.7%
令和2年	48.8%	49.3%	2.0%



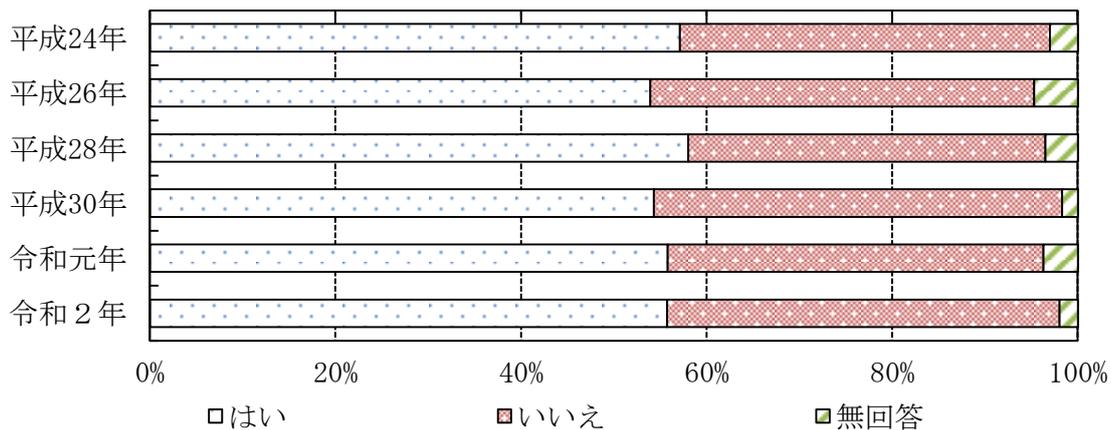
キ. 新しい健康情報や知識を日々の暮らしで試してみる方である

	はい	いいえ	無回答
平成24年	49.2%	48.4%	2.4%
平成26年	50.2%	45.1%	4.7%
平成28年	46.6%	50.2%	3.2%
平成30年	52.1%	45.5%	2.4%
令和元年	46.1%	50.6%	3.3%
令和2年	51.3%	46.9%	1.8%



ク。「これが私の生きがい」といえるものがある

	はい	いいえ	無回答
平成24年	57.1%	39.9%	3.0%
平成26年	53.9%	41.4%	4.7%
平成28年	58.0%	38.5%	3.5%
平成30年	54.3%	44.0%	1.7%
令和元年	55.8%	40.5%	3.7%
令和2年	55.7%	42.3%	2.0%



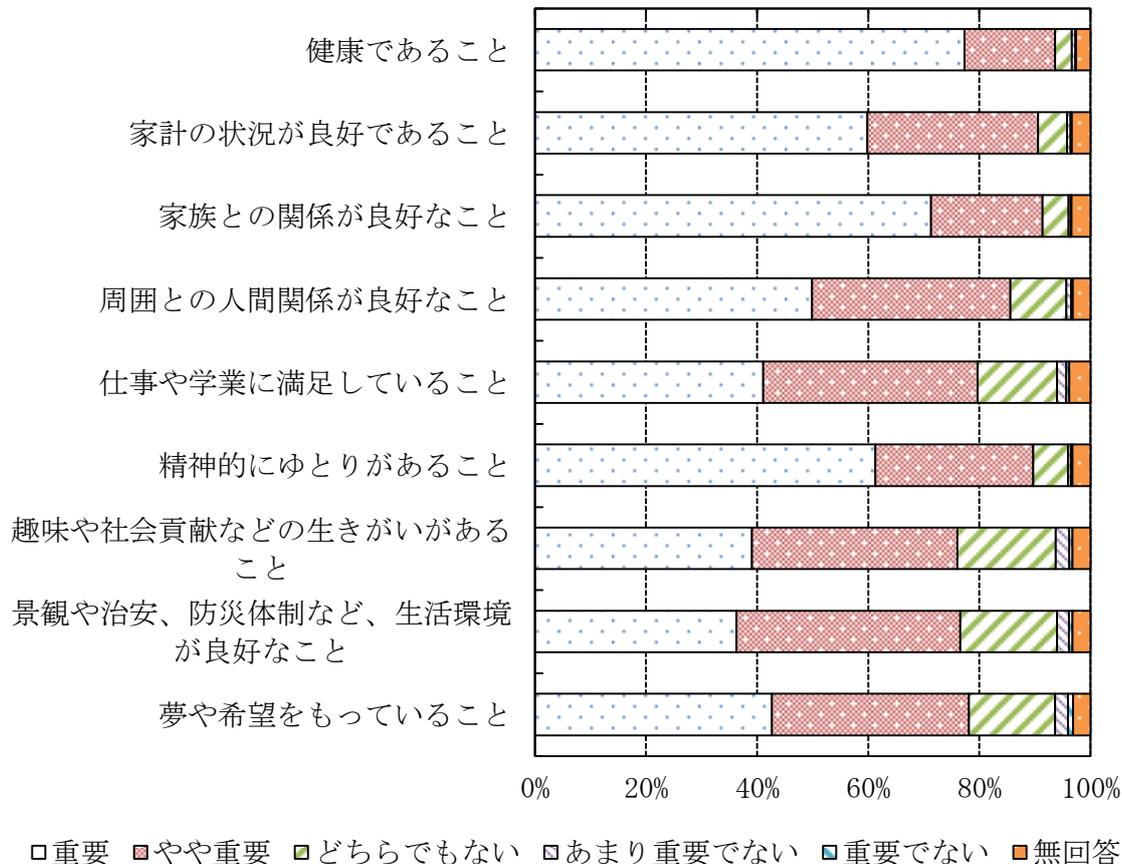
4. 市民の幸福感

(1) 幸福感を判断するときに重要なこと

ア. 重要だと思うこと (令和2年調査)

重要だと思うことは「健康」「家計」「人間関係」「精神的ゆとり」が特に高い。良好な人間関係の中、安心して暮らせる環境が幸福に重要なことがわかる。また、「仕事や学業」「生きがい」「生活環境」「夢と希望」も「重要」「やや重要」を合わせると80%程度となり、重要と考えられている。

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
健康であること	77.3%	16.3%	3.0%	0.6%	0.1%	2.6%
家計の状況が良好であること	59.8%	30.7%	5.2%	0.6%	0.2%	3.4%
家族との関係が良好なこと	71.3%	20.1%	4.6%	0.4%	0.1%	3.4%
周囲との人間関係が良好なこと	49.9%	35.7%	10.1%	0.8%	0.3%	3.2%
仕事や学業に満足していること	41.1%	38.6%	14.3%	1.7%	0.5%	3.8%
精神的にゆとりがあること	61.3%	28.4%	6.3%	0.5%	0.3%	3.3%
趣味や社会貢献などの生きがいがあること	39.0%	37.0%	17.7%	2.4%	0.6%	3.3%
景観や治安、防災体制など、生活環境が良好なこと	36.3%	40.3%	17.4%	2.1%	0.6%	3.3%
夢や希望をもっていること	42.6%	35.5%	15.5%	2.3%	0.9%	3.1%



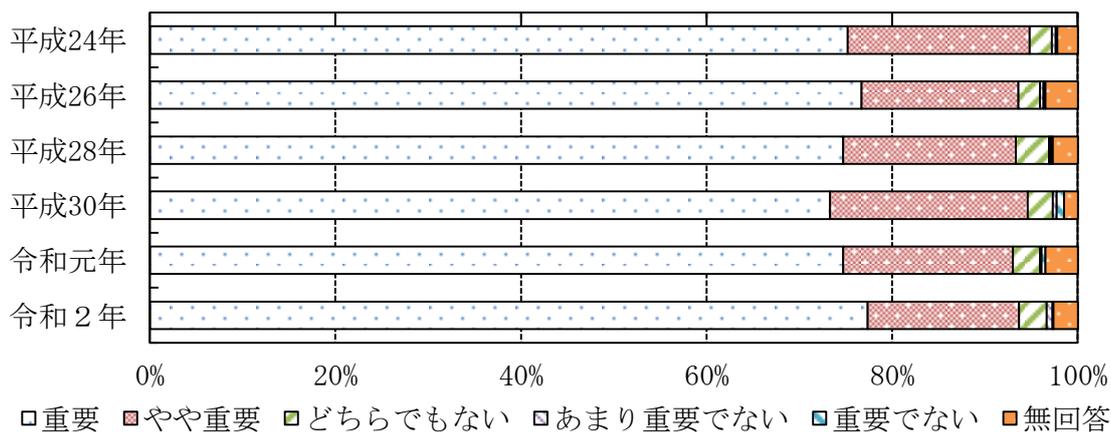
【その他重要だと思うこと】

- ずっと仲のいい家族がいること（女性／10代／野沢地区）
- 今の自分が好きだということ（満足している）（女性／10代／野沢地区）
- すべて重要です。でも1番は生きたいと思えることだと思います。（女性／20代／浅科地区）
- 妊娠→出産や介護をしても労働を続けられる。県外等気楽にアクセスできる。行きたい時に行きたい場所に。（女性／20代／浅間地区）
- 自尊心を常に保つことができる人生（女性／30代／望月地区）
- 相談できる人がいること（女性／40代／浅間地区）
- 自分を愛せる（大切に思える）こと（女性／40代／中込地区）
- 生きていくのに一番は経済力です！！（女性／40代／中込地区）
- 感謝できること（女性／40代／野沢地区）
- 普通に毎日生活をして、休日に体を休め、のんびりできること。（女性／50代／浅間地区）
- 自分の役割（生きがい）があること（女性／50代／浅間地区）
- 自分だけでなく、家族が幸福である事。生来がずっと幸福が続くこと。（女性／50代／浅間地区）
- 生まれてきてよかったと思えること（女性／50代／東地区）
- 自分の心もちで幸福（女性／50代／野沢地区）
- 自分の思いを話せる相手がいること。気にかけてくれる人がいること。（女性／60～64歳／臼田地区）
- 男女関係のいじめが無い事（女性／60～64歳／浅科地区）
- 言論の自由があること（女性／60～64歳／中込地区）
- 些細なことでも自分の役割があること（女性／65～69歳／浅科地区）
- 心が健康であることもとっても大事（女性／65～69歳／中込地区）
- 自分だけでなく子供や孫たちが元気、健康であることも重要だと思う（女性／65～69歳／東地区）
- （わがままですが）家の近所の人、職場で嫌な人がいると、嫌になることが多いです。（女性／65～69歳／東地区）
- 天候に恵まれていること（女性／65～69歳／野沢地区）
- 心の状態がポジティブであること（女性／70～74歳／臼田地区）
- コロナが終結しないことには、高齢者は楽しめない、なんとかして県外にも！（女性／70～74歳／浅科地区）
- 何事もポジティブに考える（女性／70～74歳／中込地区）
- 目標を持つこと、家族で自由な会話ができること（女性／70～74歳／中込地区）
- 優しい言葉（女性／75歳以上／臼田地区）
- 単身となった場合の生活（女性／75歳以上／浅間地区）
- 身体に傷害の無いこと（女性／75歳以上／中込地区）
- 美味しいごはんが食べられる時（男性／20代／望月地区）
- お金の余裕があればだいたい幸せと感じるはず（男性／20代／野沢地区）
- たわいもないことで家族や友人と笑って過ごせること（男性／20代／野沢地区）
- 金銭的な余裕（男性／30代／臼田地区）
- 自分が幸福であると思える環境を自分で創造すること（男性／30代／臼田地区）

- 金銭的に余裕、生活をしていけると感じられること（男性／30代／無回答）
- 夜にゆっくり眠れること（男性／30代／野沢地区）
- 何が何でもいいから目標を持つことは重要です。1年に1つ目標を持ち生きること。（人に家族に「迷惑」をかけない程度）（男性／40代／浅間地区）
- 孤独でないこと（男性／40代／野沢地区）
- この項目と市政の関係は関連するが「良好」の定義があいまいな以上、抽象的、恣意的になる（男性／50代／浅科地区）
- 収入に不安がないこと（男性／50代／浅科地区）
- 自然と気候が良いこと！佐久はとてよい！（男性／50代／中込地区）
- 吾唯足知（男性／50代／野沢地区）
- ストレスが少ないこと（男性／60～64歳／浅間地区）
- 人間は、永遠を生きる魂存在であることを知ること（男性／60～64歳／浅間地区）
- 文化、芸術的な満足感が得られること（男性／60～64歳／中込地区）
- 全体的に、普下の生活ができること。（男性／65～69歳／野沢地区）
- 周囲から頼られること（男性／70～74歳／浅間地区）
- 子供、孫が健康で心が大きく育っていくこと。（男性／75歳以上／臼田地区）
- 健康で精神的にゆとりがあること（男性／75歳以上／浅間地区）
- 教養のあること（男性／75歳以上／浅間地区）
- あまり高い所を目ざさない。平凡な毎日はいいことだ（男性／75歳以上／野沢地区）

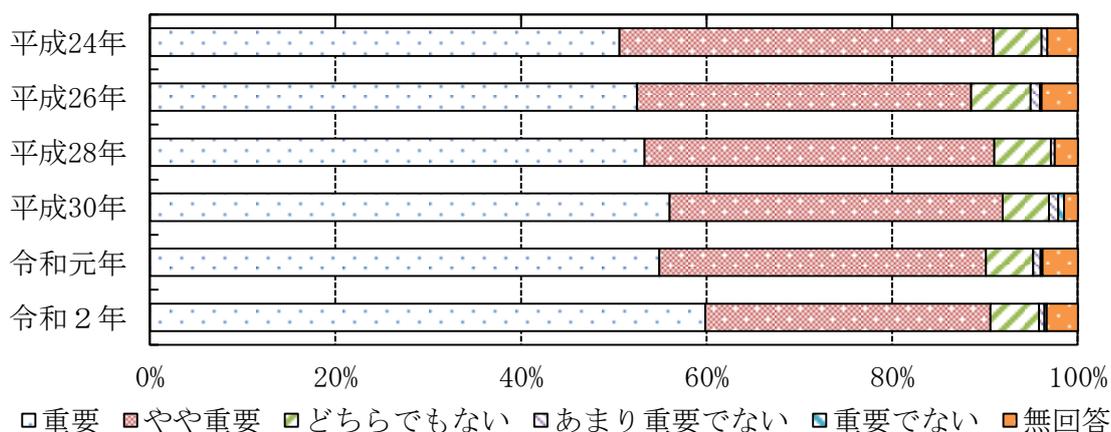
イ. 健康であること

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	75.2%	19.6%	2.4%	0.4%	0.2%	2.2%
平成26年	76.7%	16.9%	2.3%	0.4%	0.2%	3.5%
平成28年	74.7%	18.6%	3.6%	0.2%	0.2%	2.7%
平成30年	73.3%	21.3%	2.7%	0.4%	0.8%	1.5%
令和元年	74.7%	18.3%	2.9%	0.2%	0.4%	3.5%
令和2年	77.3%	16.3%	3.0%	0.6%	0.1%	2.6%



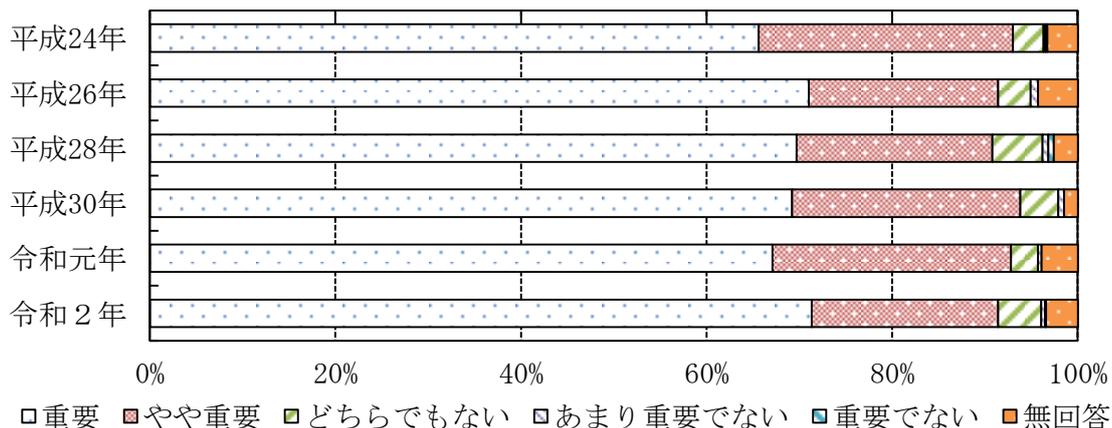
ウ. 家計の状況が良好であること

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	50.6%	40.3%	5.2%	0.6%	0.0%	3.3%
平成26年	52.5%	36.0%	6.4%	1.0%	0.2%	3.9%
平成28年	53.3%	37.7%	6.1%	0.4%	0.0%	2.5%
平成30年	56.0%	35.9%	5.0%	1.0%	0.6%	1.5%
令和元年	54.9%	35.2%	5.1%	0.8%	0.2%	3.8%
令和2年	59.8%	30.7%	5.2%	0.6%	0.2%	3.4%



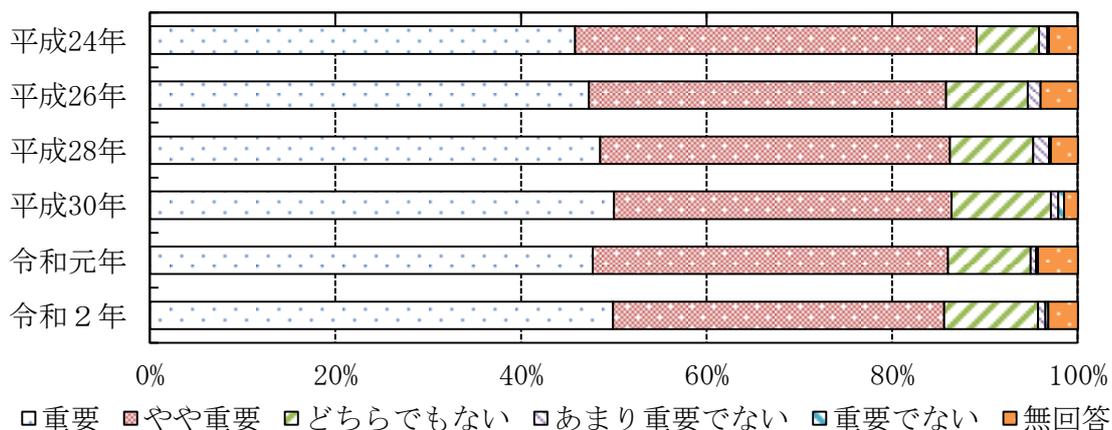
エ. 家族との関係が良好なこと

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	65.6%	27.4%	3.3%	0.2%	0.2%	3.3%
平成26年	71.0%	20.4%	3.5%	0.8%	0.0%	4.3%
平成28年	69.7%	21.1%	5.4%	0.6%	0.6%	2.6%
平成30年	69.2%	24.6%	4.1%	0.6%	0.0%	1.5%
令和元年	67.1%	25.7%	2.9%	0.4%	0.0%	3.9%
令和2年	71.3%	20.1%	4.6%	0.4%	0.1%	3.4%



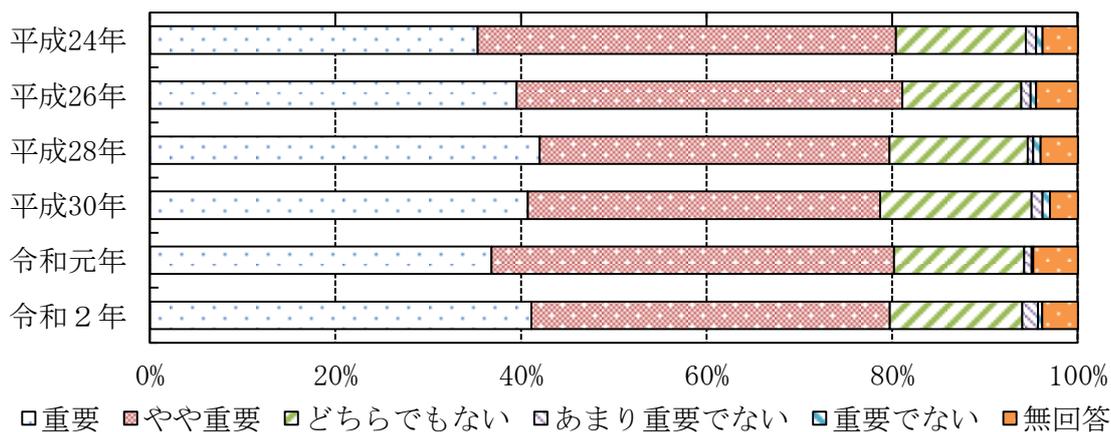
オ. 周囲との人間関係が良好なこと

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	45.8%	43.3%	6.7%	0.9%	0.2%	3.1%
平成26年	47.3%	38.5%	8.8%	1.4%	0.0%	4.0%
平成28年	48.5%	37.7%	9.0%	1.7%	0.2%	2.9%
平成30年	50.0%	36.4%	10.7%	0.8%	0.6%	1.5%
令和元年	47.7%	38.3%	8.9%	0.6%	0.2%	4.3%
令和2年	49.9%	35.7%	10.1%	0.8%	0.3%	3.2%



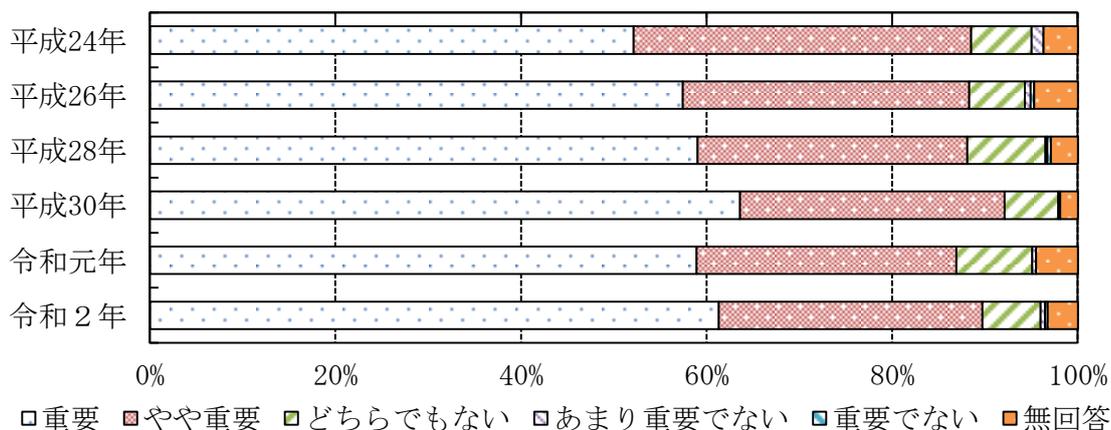
カ. 仕事や学業に満足していること

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	35.3%	45.1%	14.0%	1.1%	0.7%	3.8%
平成26年	39.5%	41.6%	12.8%	1.0%	0.6%	4.5%
平成28年	42.0%	37.7%	14.9%	0.6%	0.8%	4.0%
平成30年	40.7%	38.0%	16.3%	1.2%	0.8%	3.0%
令和元年	36.8%	43.4%	14.0%	0.8%	0.2%	4.8%
令和2年	41.1%	38.6%	14.3%	1.7%	0.5%	3.8%



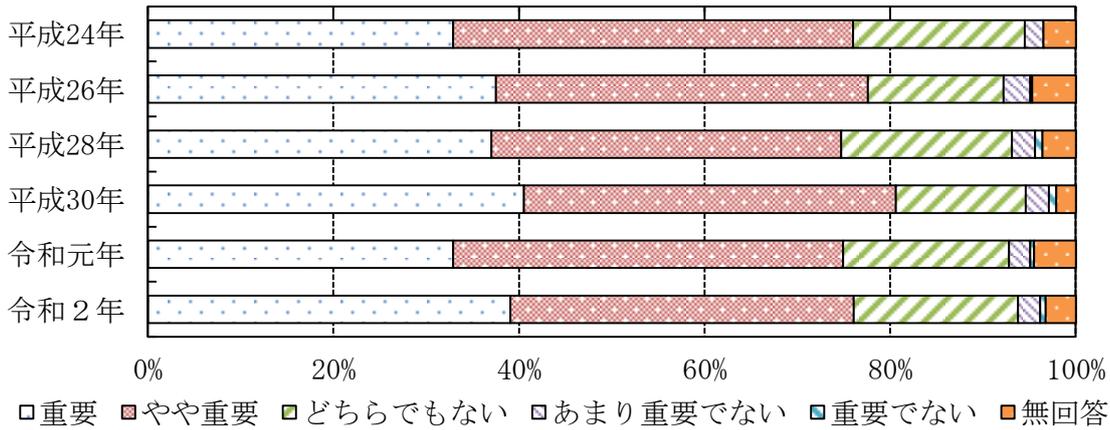
キ. 精神的にゆとりがあること

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	52.1%	36.4%	6.5%	1.3%	0.0%	3.7%
平成26年	57.4%	30.9%	6.0%	0.6%	0.4%	4.7%
平成28年	59.0%	29.1%	8.4%	0.2%	0.4%	2.9%
平成30年	63.6%	28.5%	5.8%	0.2%	0.0%	1.9%
令和元年	58.9%	28.0%	8.2%	0.4%	0.0%	4.5%
令和2年	61.3%	28.4%	6.3%	0.5%	0.3%	3.3%



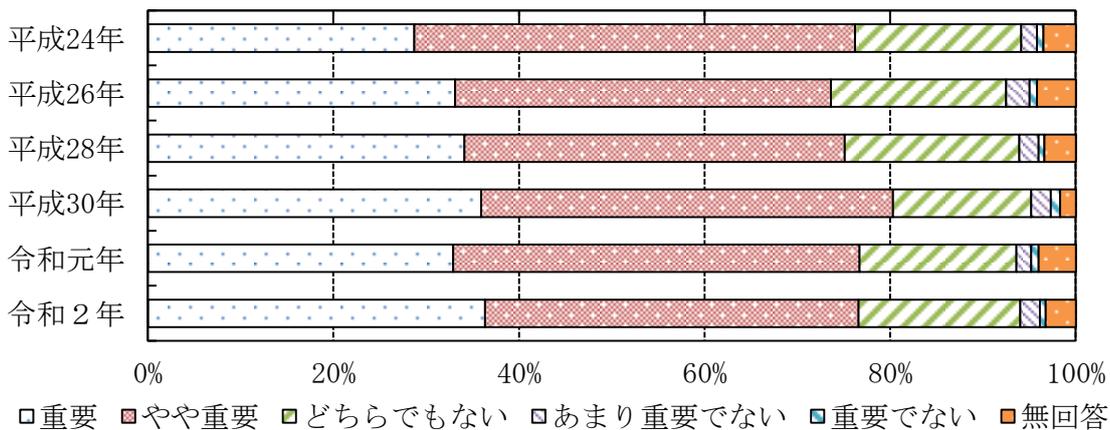
ク. 趣味や社会貢献などの生きがいがあること

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	32.9%	43.1%	18.5%	2.0%	0.0%	3.5%
平成26年	37.5%	40.1%	14.6%	2.9%	0.2%	4.7%
平成28年	37.0%	37.7%	18.4%	2.5%	0.8%	3.6%
平成30年	40.5%	40.1%	14.0%	2.5%	0.8%	2.1%
令和元年	32.9%	42.0%	17.9%	2.3%	0.4%	4.5%
令和2年	39.0%	37.0%	17.7%	2.4%	0.6%	3.3%



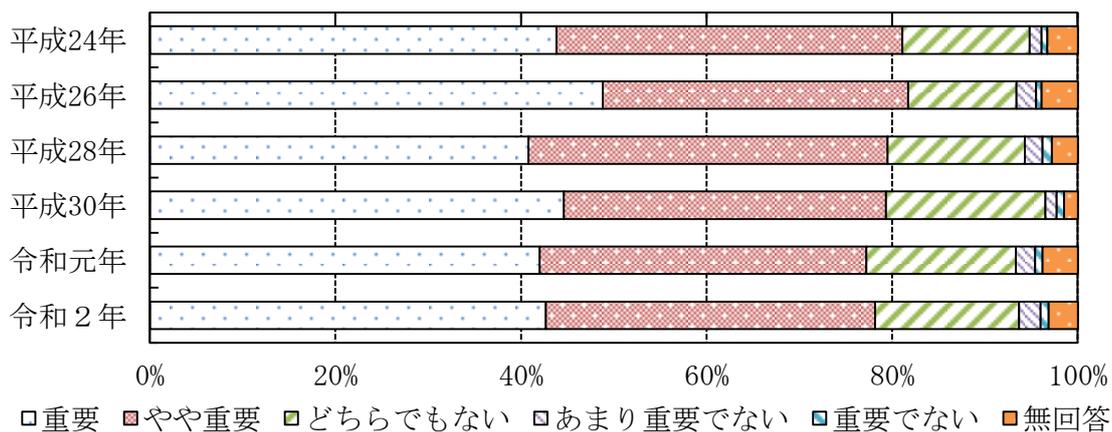
ケ. 景観や治安、防災体制など、生活環境が良好なこと

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	28.7%	47.5%	17.9%	1.7%	0.7%	3.5%
平成26年	33.1%	40.5%	18.9%	2.5%	0.8%	4.2%
平成28年	34.1%	41.0%	18.8%	2.1%	0.6%	3.4%
平成30年	35.9%	44.4%	14.9%	2.1%	1.0%	1.7%
令和元年	32.9%	43.8%	16.9%	1.6%	0.8%	4.0%
令和2年	36.3%	40.3%	17.4%	2.1%	0.6%	3.3%



コ. 夢や希望をもっていること

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない	無回答
平成24年	43.8%	37.3%	13.7%	1.3%	0.6%	3.3%
平成26年	48.8%	32.9%	11.7%	2.1%	0.6%	3.9%
平成28年	40.8%	38.7%	14.8%	1.9%	1.0%	2.8%
平成30年	44.6%	34.7%	17.2%	1.2%	0.8%	1.5%
令和元年	42.0%	35.2%	16.1%	2.1%	0.8%	3.8%
令和2年	42.6%	35.5%	15.5%	2.3%	0.9%	3.1%

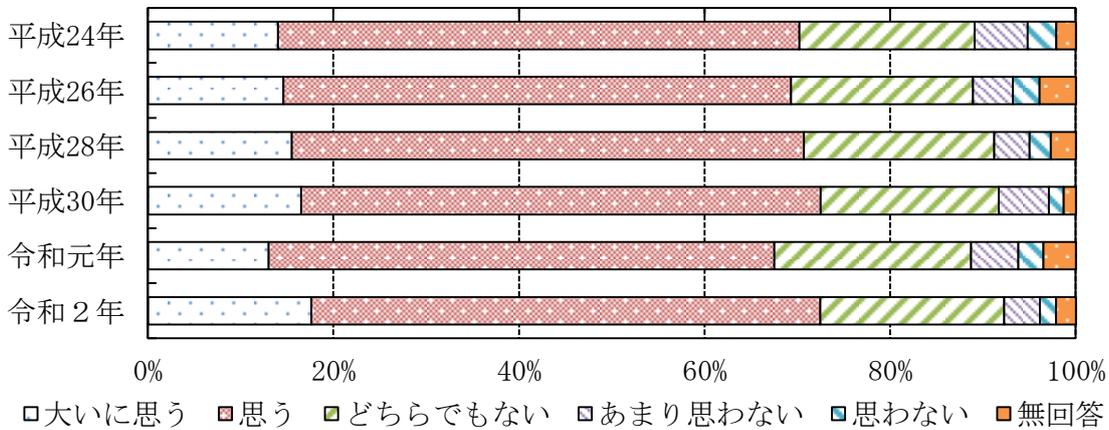


(2) 幸福感

「大いに思う」「思う」を合わせると、72.5%と平成30年と並んで、平成24年以降最も高い。また、「あまり思わない」「思わない」を合わせると5.6%と平成24年以降最も低い。

幸福感を感じる市民が増加していると考えられる。

	大いに思う	思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	無回答
平成24年	14.0%	56.2%	18.9%	5.7%	3.1%	2.1%
平成26年	14.6%	54.7%	19.6%	4.3%	2.9%	3.9%
平成28年	15.5%	55.2%	20.5%	3.8%	2.3%	2.7%
平成30年	16.5%	56.0%	19.2%	5.4%	1.6%	1.3%
令和元年	13.0%	54.5%	21.2%	5.1%	2.7%	3.5%
令和2年	17.6%	54.9%	19.8%	3.8%	1.7%	2.1%



<空白ページ>